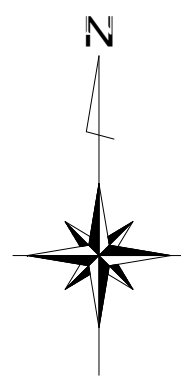


令和 8 年 度 枝 川 小 学 校 ト イ レ 改 修 工 事

目 次

図面番号	図名	縮尺	図面番号	図名	縮尺	【機械設備図】		
【意匠図】			【電気設備図】			M-01	特記仕様書	NON
A-01	特記仕様書（建築改修工事編）（１）	NON	E-01	特記仕様書	NON	M-02	換気設備【既設・撤去、改修後】平面図	1/ 50
A-02	特記仕様書（建築改修工事編）（２）	NON	E-02	幹線 1 階平面図	1/200	M-03	衛生設備【既設・撤去、改修後】平面図	1/ 50
A-03	特記仕様書（建築改修工事編）（３）	NON	E-03	幹線 2 階平面図	1/200	M-04	衛生設備【既設・撤去、改修後】機器リスト	NON
A-04	特記仕様書（建築改修工事編）（４）	NON	E-04	【仮設トイレ用】電灯設備平面図	1/100	M-05	給排水設備【既設、改修後】 スラブ配管孔 配置図	1/ 30
A-05	特記仕様書（建築改修工事編）（５）	NON	E-05	盤結線図、電灯設備【既設・撤去】平面詳細図	1/ 50	【構造共通図】		
A-06	特記仕様書（建築改修工事編）（６）	NON	E-06	電灯、コンセント設備【改修後】平面図	1/ 50	F-01	既設 Z 2 スラブ、壁 配筋リスト、配筋詳細図	1/ 30
A-07	特記仕様書（建築改修工事編）（７）	NON						
A-08	配置図、面積求積図、内部仕上表	1/1, 000、1/200						
A-09	1 階平面図	1/200						
A-10	2 階平面図	1/200						
A-11	【仮設】 1 階平面図	1/100						
A-12	【仮設】 2 階平面図	1/100						
A-13	【仮設】断面図、仮設工事リスト・区分	1/ 30						
A-14	【既設・撤去】矩計図	1/ 30						
A-15	【改修後】矩計図 1	1/ 30						
A-16	【改修後】矩計図 2	1/ 30						
A-17	【既設・撤去】平面詳細図	1/ 50						
A-18	【改修後】平面詳細図	1/ 30						
A-19	【既設・撤去】天井伏図	1/ 30						
A-20	【改修後】天井伏図	1/ 30						
A-21	【既設・撤去】展開図	1/ 30						
A-22	【改修後】展開図 1	1/ 30						
A-23	【改修後】展開図 2	1/ 30						
A-24	【既設・撤去】建具表	1/ 50						
A-25	【改修後】建具表 1	1/ 50						
A-26	【改修後】建具表 2	1/ 50						



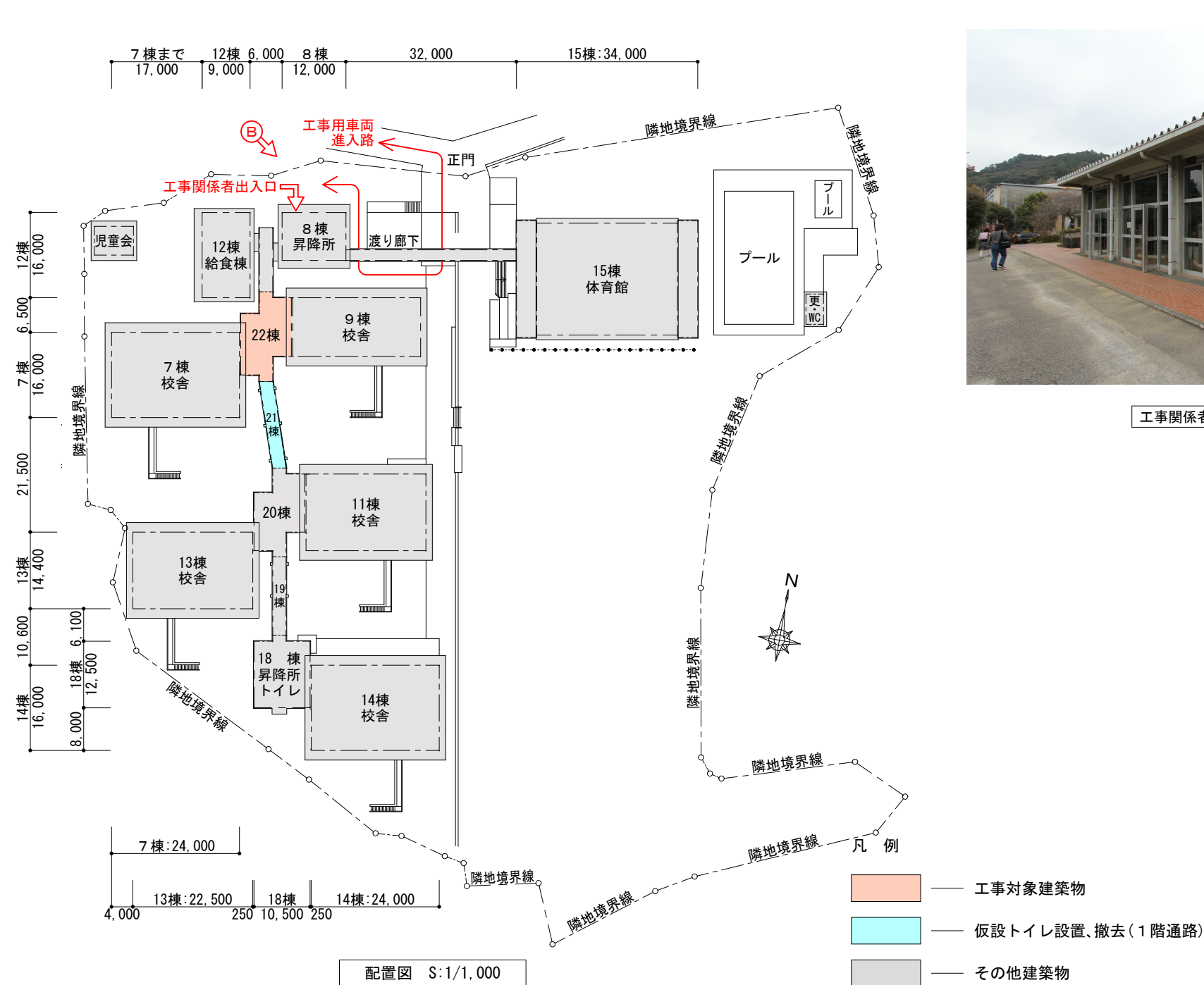
[illegible]

3 防水改修工事	・降雨等に対する養生方法（とい共）	※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による ・（ ）	[3.1.3]	5 建具改修工事	・改修工法	<table><tr><td colspan="4">[5.1.3]</td></tr><tr><td>建具の種類</td><td>かぶせ工法</td><td>撤去工法</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・アルミニウム製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・樹脂製建具</td><td>――</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td rowspan="2">・鋼製建具</td><td>・外部</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・内部</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・木製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示 ・</td></tr></table>	[5.1.3]				建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	※図示 ・	・樹脂製建具	――	・	※図示 ・	・鋼製建具	・外部	・	※図示 ・	・内部	・	※図示 ・	・鋼製軽量建具	・	・	※図示 ・	・ステンレス製建具	・	・	※図示 ・	・木製建具	・	・	※図示 ・																																																							
	[5.1.3]																																																																																															
	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法		適用箇所																																																																																											
	・アルミニウム製建具	・	・		※図示 ・																																																																																											
	・樹脂製建具	――	・		※図示 ・																																																																																											
	・鋼製建具	・外部	・		※図示 ・																																																																																											
		・内部	・		※図示 ・																																																																																											
	・鋼製軽量建具	・	・		※図示 ・																																																																																											
	・ステンレス製建具	・	・		※図示 ・																																																																																											
	・木製建具	・	・		※図示 ・																																																																																											
○既存防水の処理	既存保護層の撤去 ○行う（範囲・図示 ○全て） 既存防水層の撤去 ○行う（範囲・図示 ○全て） 立上り部の防水層撤去 ○行う（・POS ・POSI ・M4S ・M4SI ・S4S ・S4SI） 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X）	[3.2.3、4、6]		新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 ・（ ） 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ・（ ）																																																																																												
・既存下地の処理	既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ・図示 ・（ ）	[3.2.6]	・防火戸	建具符号（ ） 防火戸、ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・適用する																																																																																												
○シーリング	シーリング改修工法の種類 ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。	[3.1.4][3.7.2、3、7、8]	・見本の製作等	建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等がわかる程度 特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）																																																																																												
	<table><tr><td>施工箇所</td><td>シーリング材の種類（記号）</td></tr><tr><td>壁化粧FK目地</td><td>MS-2 6×6</td></tr><tr><td>壁～カクテ 取合</td><td>同上 10×10</td></tr><tr><td>外壁～フット、小便器・SK 取合</td><td>同上 △10×10</td></tr><tr><td>外壁～St製塞ぎバルコニー</td><td>同上 20×10</td></tr><tr><td>汚垂石間</td><td>同上 5×5</td></tr><tr><td>汚垂石～ビニル床シート</td><td>同上 △5×5</td></tr></table>	施工箇所	シーリング材の種類（記号）	壁化粧FK目地	MS-2 6×6	壁～カクテ 取合	同上 10×10	外壁～フット、小便器・SK 取合	同上 △10×10	外壁～St製塞ぎバルコニー	同上 20×10	汚垂石間	同上 5×5	汚垂石～ビニル床シート	同上 △5×5		・防犯建物部品	※適用する（ ）																																																																														
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																																																																															
壁化粧FK目地	MS-2 6×6																																																																																															
壁～カクテ 取合	同上 10×10																																																																																															
外壁～フット、小便器・SK 取合	同上 △10×10																																																																																															
外壁～St製塞ぎバルコニー	同上 20×10																																																																																															
汚垂石間	同上 5×5																																																																																															
汚垂石～ビニル床シート	同上 △5×5																																																																																															
	シーリング面への仕上塗材仕上げ等 ・行う ・行わない ブリッジ工法 ポンドプレーカー張り ・適用する エッジング材張り ・適用する 接着性試験 ・簡易接着性試験 ・引張接着性試験（部位 （ ）		・アルミニウム製建具	性能値等 [5.2.2～5][表5.2.1、2] ・外部に面する建具の性能等級 ・A種（S-4、A-3、W-4）（建具符号： ） ・B種（S-5、A-3、W-4）（建具符号： ） ・C種（S-6、A-4、W-5）（建具符号： ） ・屋内の建具の性能等級 （ ） 枠の見込み寸法 ・（ ） ・図示 ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） ・断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）																																																																																												
4-4 外壁改修工事（仕上塗材仕上げ外壁等改修）	○既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	<table><tr><td colspan="3">[4.5.4]</td></tr><tr><td>工法</td><td>処理範囲</td><td>下地面の補修</td></tr><tr><td>・サンダー工法</td><td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td><td rowspan="4">4-1～4-3による</td></tr><tr><td>・高圧水洗工法</td><td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td></tr><tr><td>・塗膜はく離剤工法</td><td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td></tr><tr><td>○水洗い工法</td><td>・サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の 処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ○外壁改修面</td></tr></table>	[4.5.4]			工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	4-1～4-3による	・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	○水洗い工法	・サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の 処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ○外壁改修面		○網戸等	材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 ・（ ） 着色 ※標準色 ・特注色（ ） 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 ・（ ） 着色 ※標準色 ・特注色（ ） 結露水の処理方法 ・（ ） ・図示 水切り板、ぜん板 ・（ ） ・図示																																																																												
	[4.5.4]																																																																																															
	工法	処理範囲	下地面の補修																																																																																													
	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	4-1～4-3による																																																																																													
	・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示																																																																																														
	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示																																																																																														
	○水洗い工法	・サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の 処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ○外壁改修面																																																																																														
	○下地調整塗材	※下地調整塗材（※C-2 ・C-1 ・CM-2） ・ポリマーセメントモルタル	[4.5.2]		性能値等 [5.2.2][5.3.2～5][表5.3.1] ・外部に面する建具の性能等級 ・A種（S-4、A-4、W-4）（建具符号： ） ・B種（S-5、A-4、W-5）（建具符号： ） ・C種（S-6、A-4、W-5）（建具符号： ） ・屋内の建具の性能等級 （ ） 枠の見込み寸法 ・（ ） ・図示 ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2）（建具符号： ） ・断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8）（建具符号： ） 外部に面する建具の日射取得性の等級 ・（ ）																																																																																											
	○仕上塗材仕上げ	新規仕上塗材の種類	[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]	・樹脂製建具	材料 ガラス ※複層ガラス ・（ ） 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・（ ） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B																																																																																											
		<table><tr><th>種類</th><th>呼び名</th><th>防火材料</th><th>仕上げの形状</th></tr><tr><td rowspan="5">・薄付け仕上塗材</td><td>・外装薄塗材Si</td><td>・</td><td>・砂壁状</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材Si</td><td>・</td><td>・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗り）</td></tr><tr><td>・外装薄塗材E</td><td>・</td><td>・さざ波状 ・平たん状</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材E</td><td>・</td><td>・凹凸状（・吹付け ・こて塗り）</td></tr><tr><td>・防水形外装塗材E</td><td>・</td><td>・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り）</td></tr><tr><td rowspan="5">・厚付け仕上塗材</td><td>・外装薄塗材S</td><td>・</td><td>・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく</td></tr><tr><td>・外装厚塗材C</td><td>・</td><td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状</td></tr><tr><td>・外装厚塗材Si</td><td>・</td><td>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td></tr><tr><td>・外装厚塗材E</td><td>・</td><td>上塗材 ・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td>○複層仕上塗材</td><td>・複層塗材CE</td><td>・</td><td>○ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状</td></tr><tr><td rowspan="7">○複層仕上塗材</td><td>・可とう形複層塗材CE</td><td>・</td><td>耐候性 ※耐候形3種 ・</td></tr><tr><td>・複層塗材Si</td><td>・</td><td>上塗材</td></tr><tr><td>○複層塗材E</td><td>・</td><td>溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系</td></tr><tr><td>・複層塗材RE</td><td>・</td><td>樹脂 ※アクリル系</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材CE</td><td>・</td><td>外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材E</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・防水形複層塗材RE</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">・可とう形改修用仕上塗材</td><td>・可とう形改修塗材E</td><td>・</td><td>・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状</td></tr><tr><td>・可とう形改修塗材RE</td><td>・</td><td>耐候性 ※耐候形3種 ・</td></tr><tr><td>・可とう形改修塗材CE</td><td>・</td><td>上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</td></tr><tr><td>・マシック塗材塗り</td><td>種別 ・A種 ・B種</td><td>[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]</td><td>○鋼製建具（鋼製枠・SC含）</td><td>性能値等 [5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 鋼板類の厚さ ・改修標準仕様書（表5.4.2）による ○（建具表による） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）</td></tr><tr><td>・外壁用塗膜防水材塗り</td><td>仕上げの形状 ・凹凸状 ・凸部処理 ・ゆず肌状 ・さざ波状 耐候性 ※JIS A 6909 耐候形1種 ・（ ） 下地挙動緩衝材 ・適用する 模様材の種類及び所要量 ・（ ） ・図示 外壁用仕上塗料の種類と所要量 ・（ ） ・図示</td><td>[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]</td><td></td><td>性能値等 [5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 鋼板類の厚さ ・改修標準仕様書（表5.4.2）による ○（建具表による） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">特記仕様書（建築改修工事編）（2）</td><td>令和4年度版</td><td>高知県土木部建築課</td></tr><tr><td colspan="2">令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事</td><td>令和7年12月</td><td>令和5年7月改正</td></tr><tr><td>図面番号</td><td>一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号</td><td>担当</td><td>〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号</td></tr><tr><td>A-02</td><td>一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳</td><td colspan="2">高本建築設計事務所</td></tr></table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗り）	・外装薄塗材E	・	・さざ波状 ・平たん状	・可とう形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け ・こて塗り）	・防水形外装塗材E	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り）	・厚付け仕上塗材	・外装薄塗材S	・	・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・外装厚塗材E	・	上塗材 ・適用する ・適用しない	○複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	○ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状	○複層仕上塗材	・可とう形複層塗材CE	・	耐候性 ※耐候形3種 ・	・複層塗材Si	・	上塗材	○複層塗材E	・	溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系	・複層塗材RE	・	樹脂 ※アクリル系	・防水形複層塗材CE	・	外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック	・防水形複層塗材E	・		・防水形複層塗材RE	・		・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	・可とう形改修塗材RE	・	耐候性 ※耐候形3種 ・	・可とう形改修塗材CE	・	上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック	・マシック塗材塗り	種別 ・A種 ・B種	[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]	○鋼製建具（鋼製枠・SC含）	性能値等 [5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 鋼板類の厚さ ・改修標準仕様書（表5.4.2）による ○（建具表による） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）	・外壁用塗膜防水材塗り	仕上げの形状 ・凹凸状 ・凸部処理 ・ゆず肌状 ・さざ波状 耐候性 ※JIS A 6909 耐候形1種 ・（ ） 下地挙動緩衝材 ・適用する 模様材の種類及び所要量 ・（ ） ・図示 外壁用仕上塗料の種類と所要量 ・（ ） ・図示	[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]		性能値等 [5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 鋼板類の厚さ ・改修標準仕様書（表5.4.2）による ○（建具表による） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）	特記仕様書（建築改修工事編）（2）		令和4年度版	高知県土木部建築課	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事		令和7年12月	令和5年7月改正	図面番号	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号	A-02	一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	高本建築設計事務所
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状																																																																																													
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状																																																																																													
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗り）																																																																																													
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状 ・平たん状																																																																																													
	・可とう形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け ・こて塗り）																																																																																													
	・防水形外装塗材E	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り）																																																																																													
・厚付け仕上塗材	・外装薄塗材S	・	・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく																																																																																													
	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																													
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																													
	・外装厚塗材E	・	上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																													
	○複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	○ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状																																																																																												
○複層仕上塗材	・可とう形複層塗材CE	・	耐候性 ※耐候形3種 ・																																																																																													
	・複層塗材Si	・	上塗材																																																																																													
	○複層塗材E	・	溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系																																																																																													
	・複層塗材RE	・	樹脂 ※アクリル系																																																																																													
	・防水形複層塗材CE	・	外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック																																																																																													
	・防水形複層塗材E	・																																																																																														
	・防水形複層塗材RE	・																																																																																														
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状																																																																																													
	・可とう形改修塗材RE	・	耐候性 ※耐候形3種 ・																																																																																													
	・可とう形改修塗材CE	・	上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック																																																																																													
・マシック塗材塗り	種別 ・A種 ・B種	[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]	○鋼製建具（鋼製枠・SC含）	性能値等 [5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 鋼板類の厚さ ・改修標準仕様書（表5.4.2）による ○（建具表による） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）																																																																																												
・外壁用塗膜防水材塗り	仕上げの形状 ・凹凸状 ・凸部処理 ・ゆず肌状 ・さざ波状 耐候性 ※JIS A 6909 耐候形1種 ・（ ） 下地挙動緩衝材 ・適用する 模様材の種類及び所要量 ・（ ） ・図示 外壁用仕上塗料の種類と所要量 ・（ ） ・図示	[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]		性能値等 [5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 鋼板類の厚さ ・改修標準仕様書（表5.4.2）による ○（建具表による） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）																																																																																												
特記仕様書（建築改修工事編）（2）		令和4年度版	高知県土木部建築課																																																																																													
令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事		令和7年12月	令和5年7月改正																																																																																													
図面番号	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号																																																																																													
A-02	一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	高本建築設計事務所																																																																																														

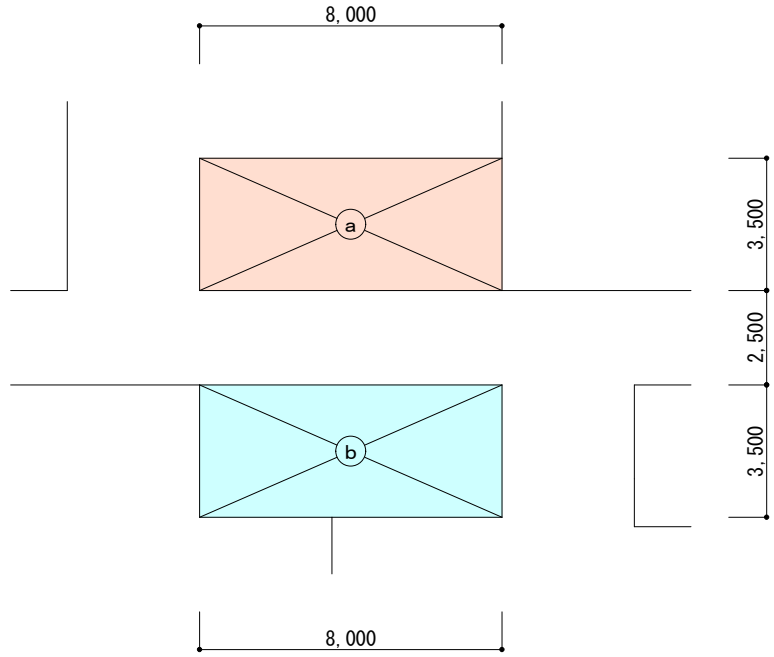
・鋼製軽量建具	性能値等 簡易気密型ドアセット（建具符号： 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： 断熱ドア・断熱サッシ[G] 断熱性の等級（ ）（建具符号： 材料 銅板 ・亜鉛めっき銅板 ・ビニル被覆銅板 ・カラー銅板 ・ステンレス銅板 ステンレス銅板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI 召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※銅板 ・（ ） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 銅板類の厚さ ※改修標準仕様書（表5.5.1）による ・（ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）	[5.2.2][5.5.2～4]																		
・ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット（建具符号： 外部に面する建具の耐風圧性 ※S－4 ・S－5 ・S－6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： 断熱ドア・断熱サッシ[G] 断熱性の等級（ ）（建具符号： 材料 ステンレス銅板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・（ ） ステンレス銅板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	[5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]																		
・木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・（ ） 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項)．室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類（ ） ・かまち戸 かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ） 見込み寸法（ ） ・ふすま 種別（Ⅰ型 Ⅱ型） ふすま紙上張り（押入等の裏側以外）（・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度） 縁仕上げ（・塗り縁 ・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリアー塗装）） ・戸ぶすま ・紙張り障子 枠及びくつずりの材料 ・（ ） ・図示	[5.7.2～4]																		
○建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.5による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※建具表による ・（ ） 錠前類、クローザ類の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.1による	[5.8.1～3][表5.8.1～5]																		
○鍵	マスターキー ○製作する ・製作しない ○既存のマスターキーに合わせる その他の鍵 ※各室3本1組 鍵箱 ※無 ・有	[5.8.4]																		
・自動ドア開閉装置		[5.9.2、3]																		
	<table><tr><th>種 類</th><th>駆動装置の値</th><th>防 錆</th><th>検出装置の性能値</th><th>検出装置の種類</th><th>凍結防止装置</th></tr><tr><td>引き戸用 駆動装置</td><td>※改修標準仕様書表5.9.1による</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※改修標準仕様書表5.9.3による</td><td>・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ</td><td>・行う （適用箇所は 建具表による） ・行わない</td></tr><tr><td>車椅子使用者用 便所出入口 引き戸用 駆動装置</td><td>※改修標準仕様書表5.9.2による</td><td>・適用する ・適用しない</td><td></td><td>車椅子使用者用便所 スイッチ</td><td></td></tr></table>	種 類	駆動装置の値	防 錆	検出装置の性能値	検出装置の種類	凍結防止装置	引き戸用 駆動装置	※改修標準仕様書表5.9.1による	・適用する ・適用しない	※改修標準仕様書表5.9.3による	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ	・行う （適用箇所は 建具表による） ・行わない	車椅子使用者用 便所出入口 引き戸用 駆動装置	※改修標準仕様書表5.9.2による	・適用する ・適用しない		車椅子使用者用便所 スイッチ		
種 類	駆動装置の値	防 錆	検出装置の性能値	検出装置の種類	凍結防止装置															
引き戸用 駆動装置	※改修標準仕様書表5.9.1による	・適用する ・適用しない	※改修標準仕様書表5.9.3による	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ	・行う （適用箇所は 建具表による） ・行わない															
車椅子使用者用 便所出入口 引き戸用 駆動装置	※改修標準仕様書表5.9.2による	・適用する ・適用しない		車椅子使用者用便所 スイッチ																
・自閉式上吊り 引戸装置	性能 ※改修標準仕様書表5.10.1による ・（ ） 																			

[illegible]

[illegible]



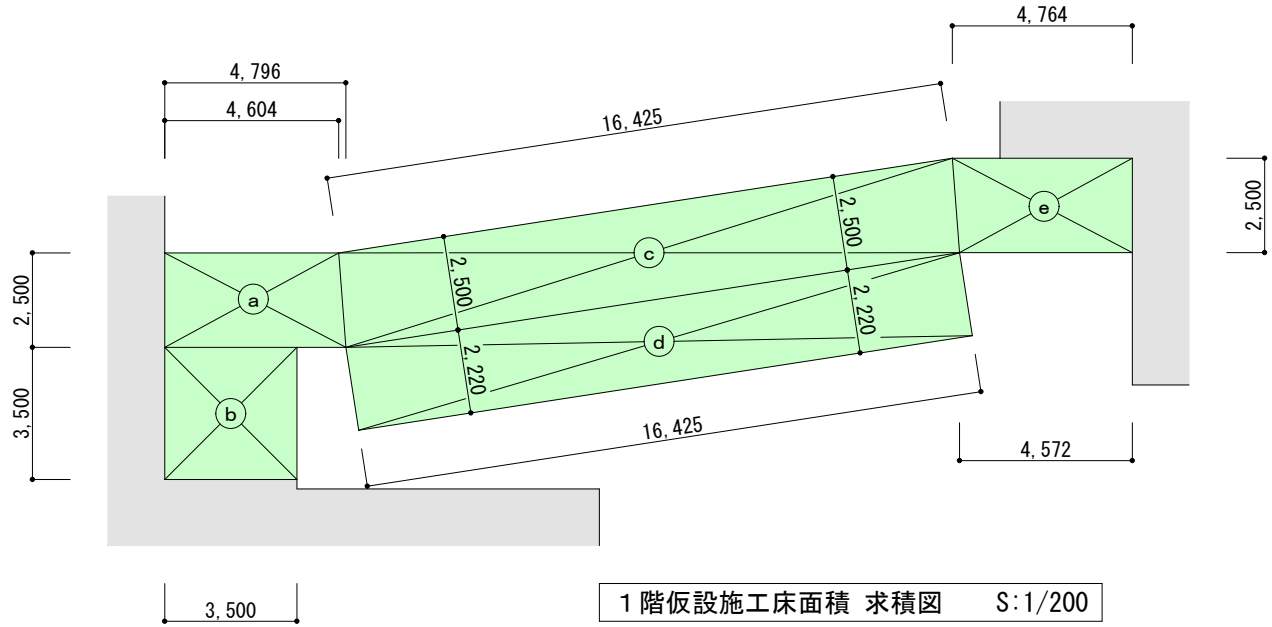
工事関係者出入口 昇降口 A



計 算 式
a:3.500 × 8.000 = 28.000
b:3.500 × 8.000 = 28.000

各諸室床面積
22棟 女子トイレ: a = 28.000 → 28.00 m²
男子トイレ: b = 28.000 → 28.00 m²

施工床面積
22棟: a + b = 56.000 → 56.00 m²



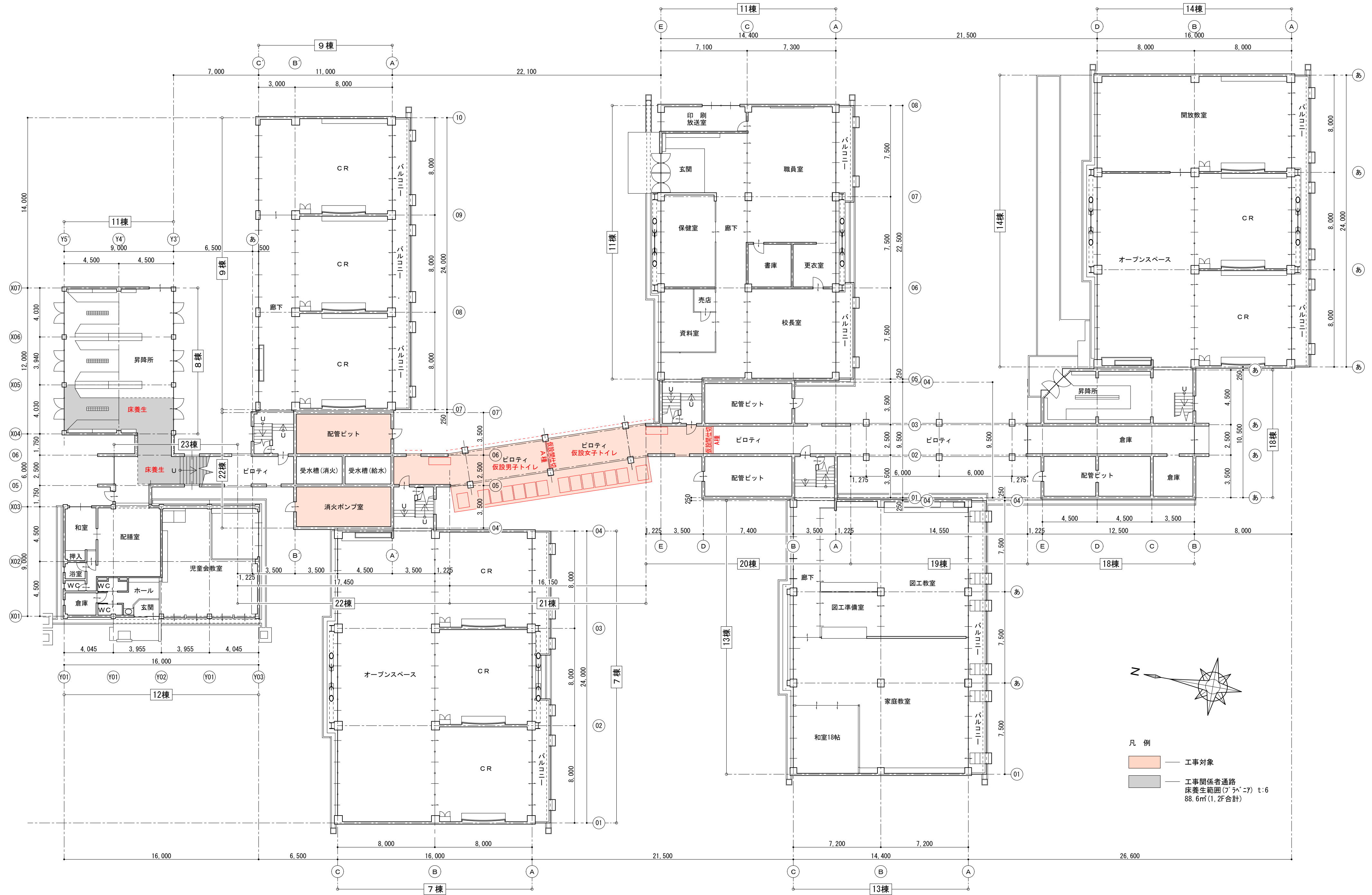
計 算 式
a: (4.796 + 4.604) / 2 × 2.500 = 11.750
b: 3.500 × 3.500 = 12.250
c: (16.425 + 16.425) / 2 × 2.500 = 41.0625
d: 16.425 × 2.220 = 36.4635
e: (4.764 + 4.572) / 2 × 2.500 = 11.670

施工床面積
21棟 仮設トイレ
a + b + c + d + e = 113.196
施工床面積: 113.19 m²

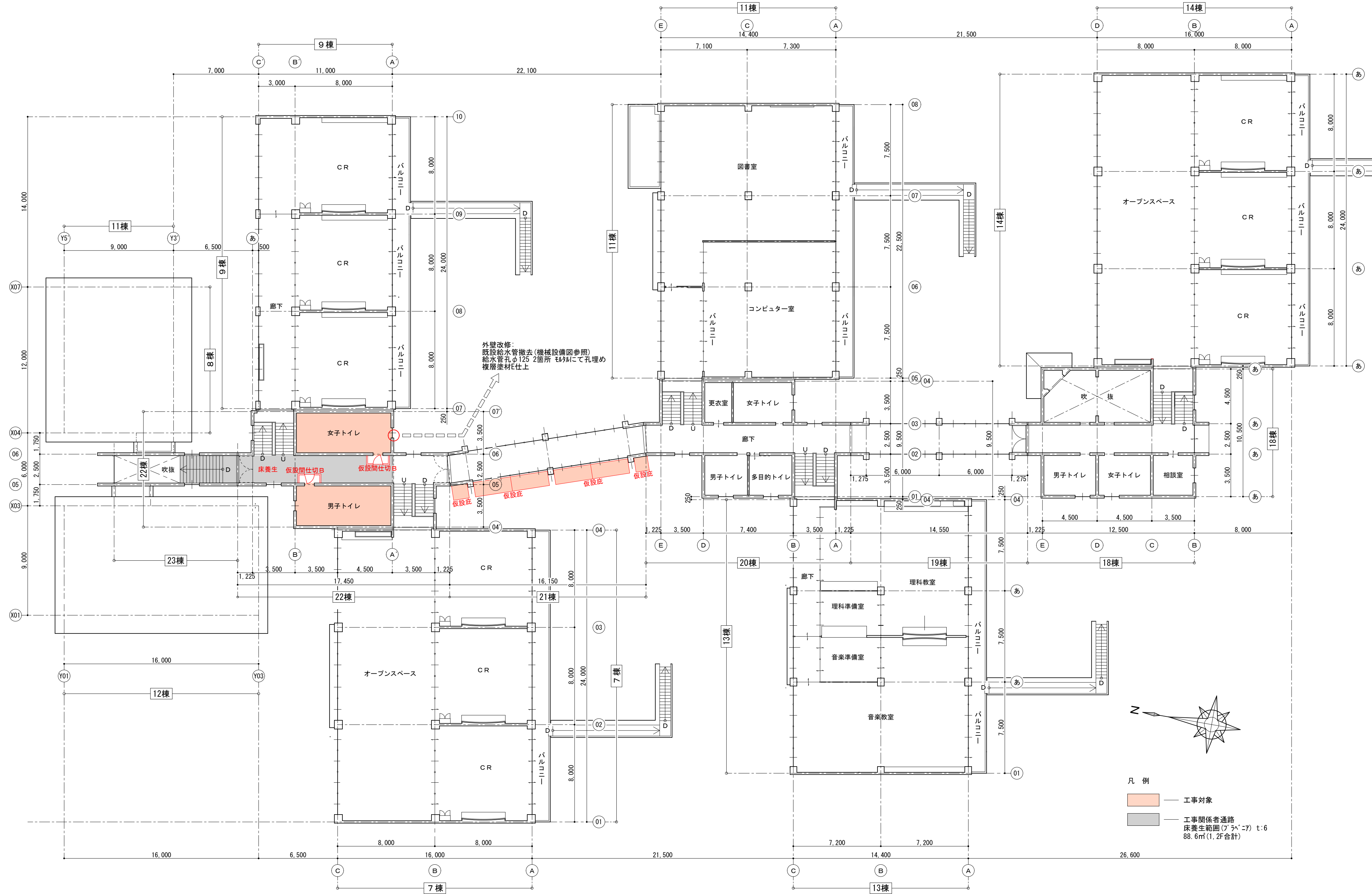
内 部 仕 上 表												
工 事 対 象 棟	通 路	既 改 設 修	天 井 高	床		幅 木	壁		廻 縁	天 井		備 考
				下 地	仕 上		下 地	仕 上		下 地	仕 上	
22 棟 (校 舎)	男子トイレ 女子トイレ	既 設	直 天	7スファルト防水(ルーフing):7スベスト含有見なし・レベリング3 + 押えCON(上履部 t:110、下掃部 t: 60)～撤去	磁器タイル張～撤去	――	コンクリート壁～存置 男子トイレ間仕切:コンクリートブロック壁～撤去	陶器タイル100角張～撤去	――	硬質木片セメント板 t:30 打込	パテライト吹付、お落しにて撤去済み	トイレ→隔板:スレート板～撤去 (7スベスト含有・レベリング3)
		改 修	2,300	乾式二重床システム(グラウレン:7A型) + 構造用合板(特)t:15 張 + ラワン合板 t:4 捨張	ビニル床シート張	壁下端:7A型製見切縁 (創建54233 同等) + ビニル巾木 H:100	更かし壁(RC下地):LGS(UL工法同等)下地 GB-R t:12.5 張 新設間仕切壁 :LGS65型下地 GB-R t:12.5 張	化粧FK t:6 目透かし張 目地:シーリング6×6	壁上端:7A型製見切縁 (創建54233 同等)	硬質木片セメント板、水下側溝はつり @ 910 (野縁受干渉部分) LGS19型:野縁受、吊りボルト @ 910 以下 野縁 @ 303 以下	FK t:6 目透かし張 EP塗	壁付換気口:ABS樹脂製φ100:男/2個・女/2個 SGM-100・ステンレス網付(新協和同等) 天井裏換気口:ABS樹脂製φ100:男/6個・女/6個 KS-V31G(Nasta同等) ペーパー棚(男):檜積層材 t:20 EP-G塗 転び止:M616-止・各2箇所 丸棒:φ6・各1本(島野同等) 掃除具掛(男):D型ソケット19113・2箇所 SUSパイプφ25・1本(島野同等) ペーパー棚兼掃除具掛(女):側板 檜積層 t30 EPG 棚:檜積層材 t:20 EP-G塗 転止:M616-止・2箇所、丸棒φ6・1本(島野同等) 掃除具掛:D型ソケット19113・2箇所 SUSパイプφ25・1本(島野同等)
	廊 下	既 設	直 天	モルタル塗～存置	ビニル床シート張～一部撤去 (7スベスト含有見なし・レベリング3)	ビニル巾木 H:100 ～一部撤去	コンクリート壁～存置	モルタル塗EP～一部撤去	――	硬質木片セメント板 t:30 打込～存置	パテライト吹付、お落しにて撤去済み	
		改 修	直 天	既設のまま	撤去部分:新設ビニル床シート張	撤去部分: 新設ビニル巾木 H:100	既設のまま	撤去部分: 新設モルタル塗EP	――	既設のまま	既設のまま	

特 記 事 項	
内部使用材料は以下のもの同等品とする	2)外壁改修
・乾式二重床システム～フビ：グラウレン 7A型	・既設給水管孔、モルタルにて孔埋めの上 複層塗材E
・汚垂石～LIXIL：キリシカステップ II	
ペーパー仕様、排水孔開け	
・化粧タイル板～セラ：アスラックス200R	

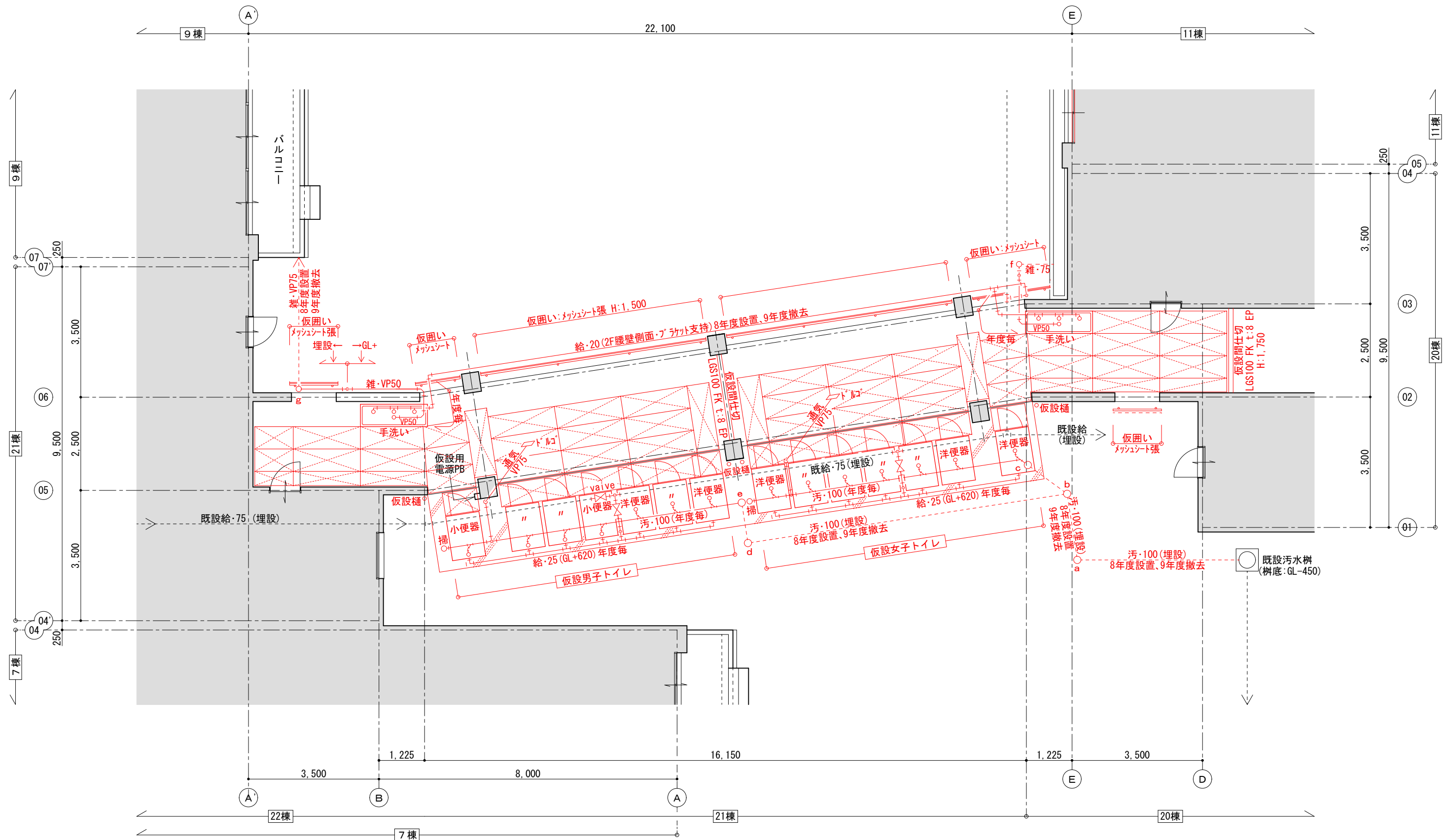
図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町129番地18号
A-08	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	配置図、面積求積図、内部仕上表	1/1,000、1/200 (A3版:71%)	R 07.12	一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳		高本建築設計事務所



図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県香川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
A-09	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	1階平面図	1/200 (A3版:71%)	R 07.12			

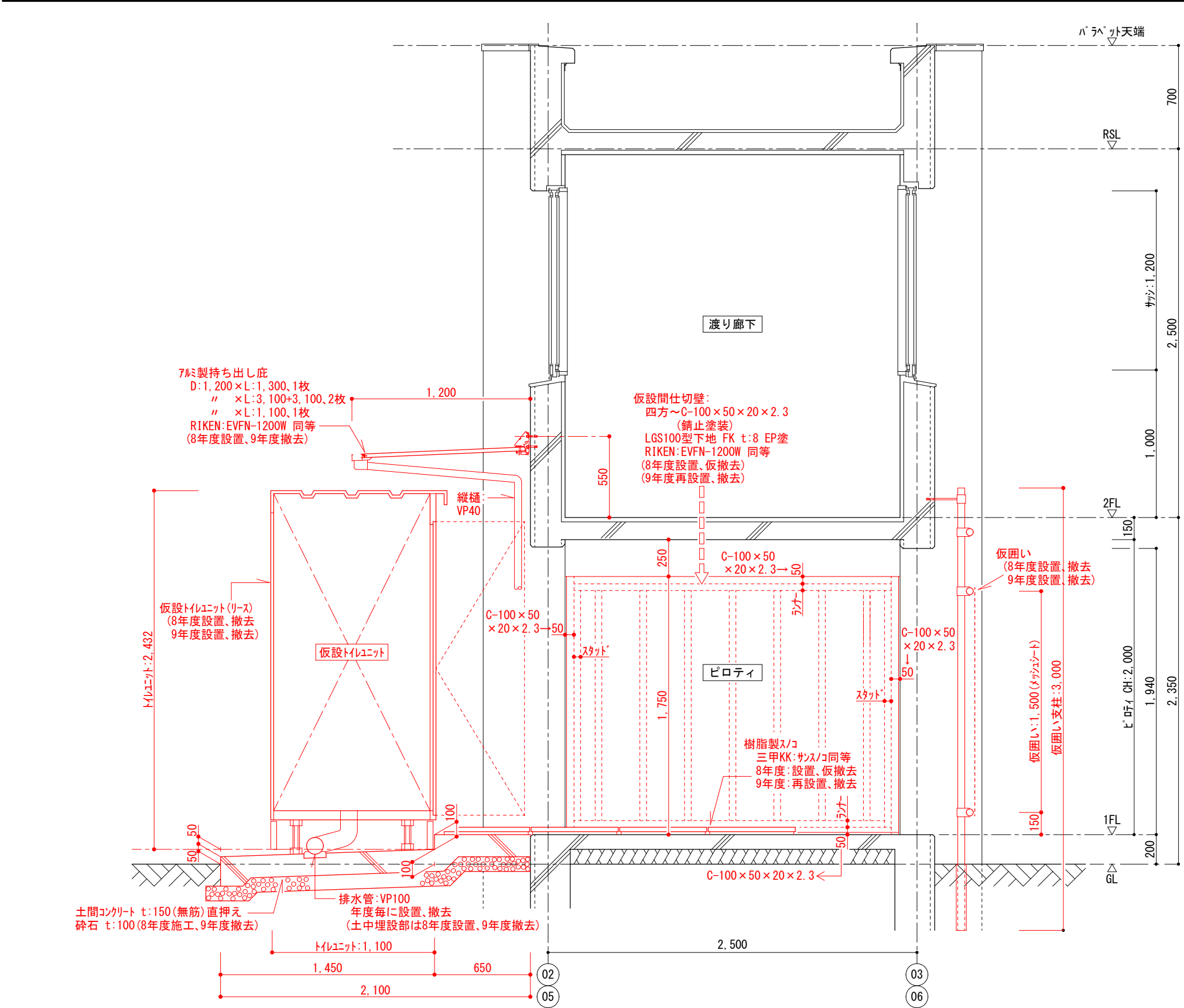


図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
A-10	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	2階平面図	1/200 (A3版:71%)	R 07.12			



排水樹リスト								
記号	タイプ	サイズ	本管径	地盤高	管底高 (GL30)	樹底高 (GL30)	樹蓋	備考
汚水樹	a	塩ビ製インバート樹	φ200	φ100	GL±0	-405	-555	塩ビ製 令和8年度設置、9年度撤去
	b	"	φ200	φ100	GL±0	-385	-535	"
	c	"	φ200	φ100	GL +50	-300	-450	"
	d	"	φ200	φ100	GL±0	-300	-450	"
	e	"	φ200	φ100	GL +75	-280	-430	"
雑排水水樹	f	塩ビ製インバート樹	φ150	φ75	GL±0	-280	-430	塩ビ製 令和8年度設置、9年度撤去
	g	"	φ150	φ75	GL±0	-280	-430	"

特記) ・仮設給水管:HIPV(保温*リフレクター*20)、汚水・雑排水管:VP
・凡例: — 仮設排水管(土間上コナシ)
 給水管(架空)
 排水管(埋設)
 給水管(埋設)
 既設給水管、排水管(埋設)
・仮設電気設備(電灯)は電気設備図(幹線系統)に記載

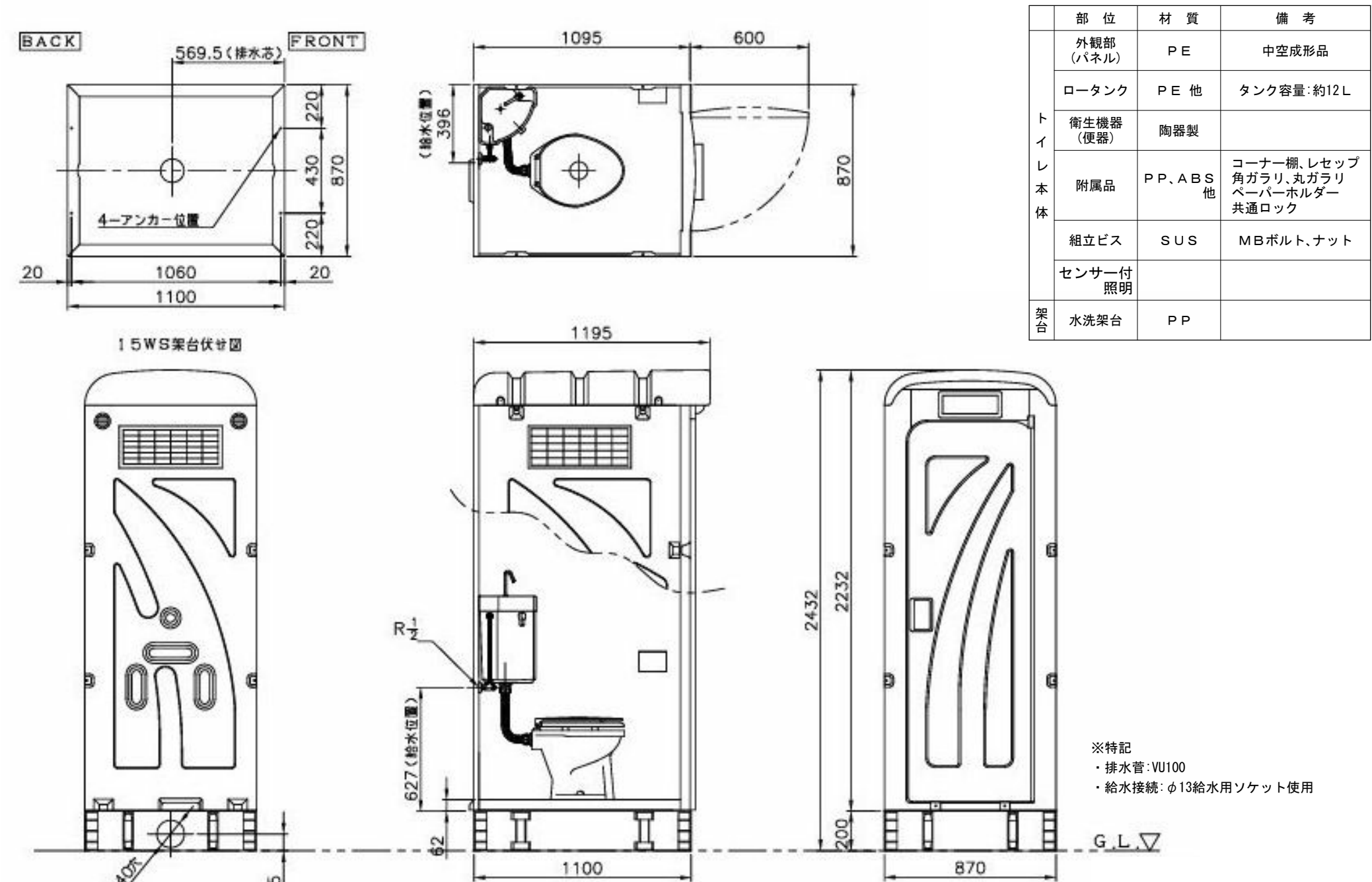


仮設トイレ(ピロティ、渡り廊下)断面図 S:1/30

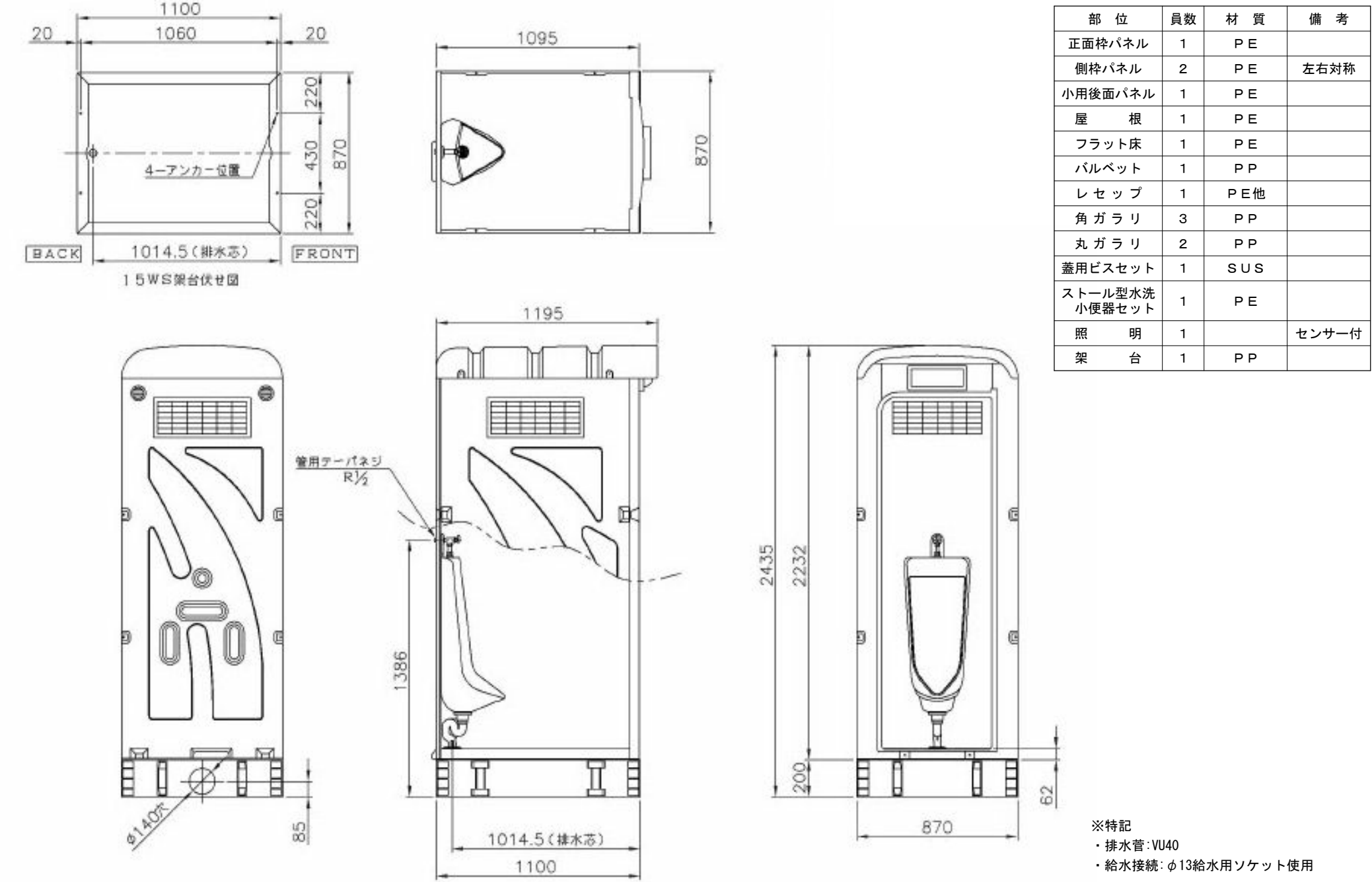
仮設工事 リスト	
仮 設 項 目	仕 様
仮設トイレユニット	ユニット：PE製、衛生器具：洋便器・陶器製、小便器・PE製 ・女子用水洗洋便器（ペーパーホルダー、センサー付照明、擬音装置）：7基 ・男子用水洗洋便器（ペーパーホルダー、センサー付照明）：3基 ・" 水洗ストール小便器（センサー付照明）：4基
手 洗 い シ ン ク	ステンレス製、又は G L 鋼板製、W:1,800×D:600 水洗：3箇所：2基 ・小学校低学年対応の為、脚元切断をして高さを低くする その為、リース品買取とする
樹 脂 製 ス ノ コ	樹脂製：600×1,800×50 サンコー：サンスノコ同等品 ・一部、切り欠き加工をして敷設
ア ル ミ 製 庇	前勾配持出し庇 RIKEN:EVFN-1200W 同等 厚み：25 先端：大型雨樋型、小口蓋、落し口付 ・D:1,200×L:1,300、1枚 D:1,200×L:3,100+3,100、2枚 D:1,200×L:1,100、1枚 ・縦樋：VP40

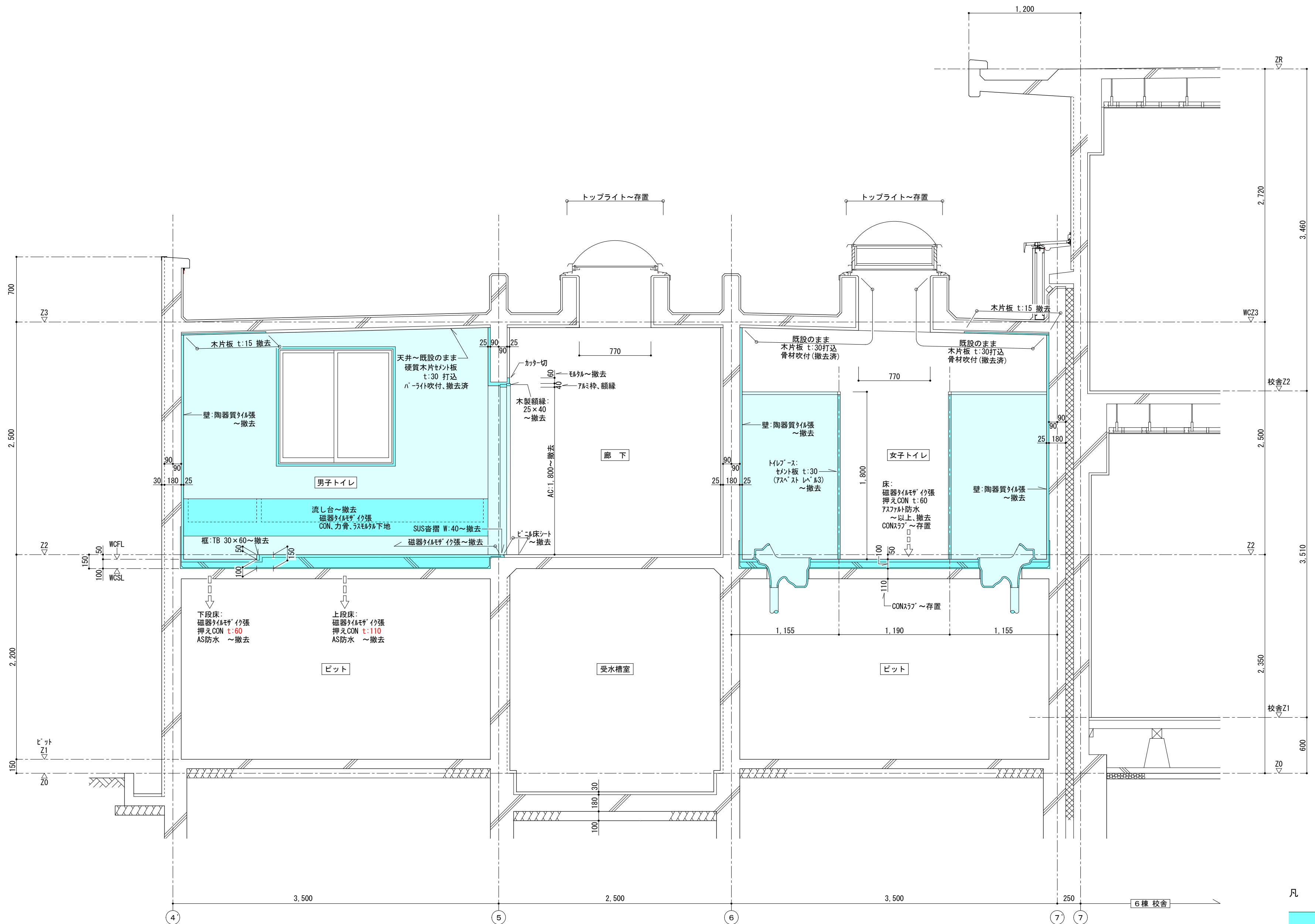
仮設工事 設置、撤去区分					備 考
仮 設 項 目	8 年 度 設 置	8 年 度 撤 去	9 年 度 設 置	9 年 度 撤 去	
仮設トイレユニット	●	●	○	○	請負者が工事毎にリース契約
手洗いシンク	●	● 仮撤去	○ 再設置	○	リース品を買取、脚を切詰加工、校内に仮保管、完了後処分
給水管 (GLより上)	●	—	—	○	特記箇所は8年度存置、9年度設置不必要
" (埋設)	●	—	—	○	9年度完了後処分
排水管 (コガシ)	●	●	○	○	年度毎に処分
" (埋設)	●	—	—	○	9年度完了後撤去、処分
排 水 樋	●	—	—	○	9年度完了後撤去、処分
土間コンクリート	●	—	—	○	9年度完了後撤去、処分
樹脂製スノコ	●	● 仮撤去	○ 再設置	○	仮撤去、再設置：校内指定場所に仮保管、指定場所より取出し
アルミ製庇 (既製品)	●	—	—	○	9年度完了後撤去、処分
縦 樋	●	—	—	○	9年度完了後撤去、処分
仮 囲 い	●	●	○	○	
配電線 (躯体浴)	●	—	—	—	
配電線 (仮設トイレ上)	●	● 仮撤去	○ 再設置	○	仮撤去、再設置：校内指定場所に仮保管、指定場所より取出し
照 明 (別紙)	—	—	—	—	

水洗洋便器 仕様図(参考:旭ハウス工業 AU-FW-15WS)



水洗ストール小便器 仕様図(参考:旭ハウス工業 AUG-SUW-15WS)

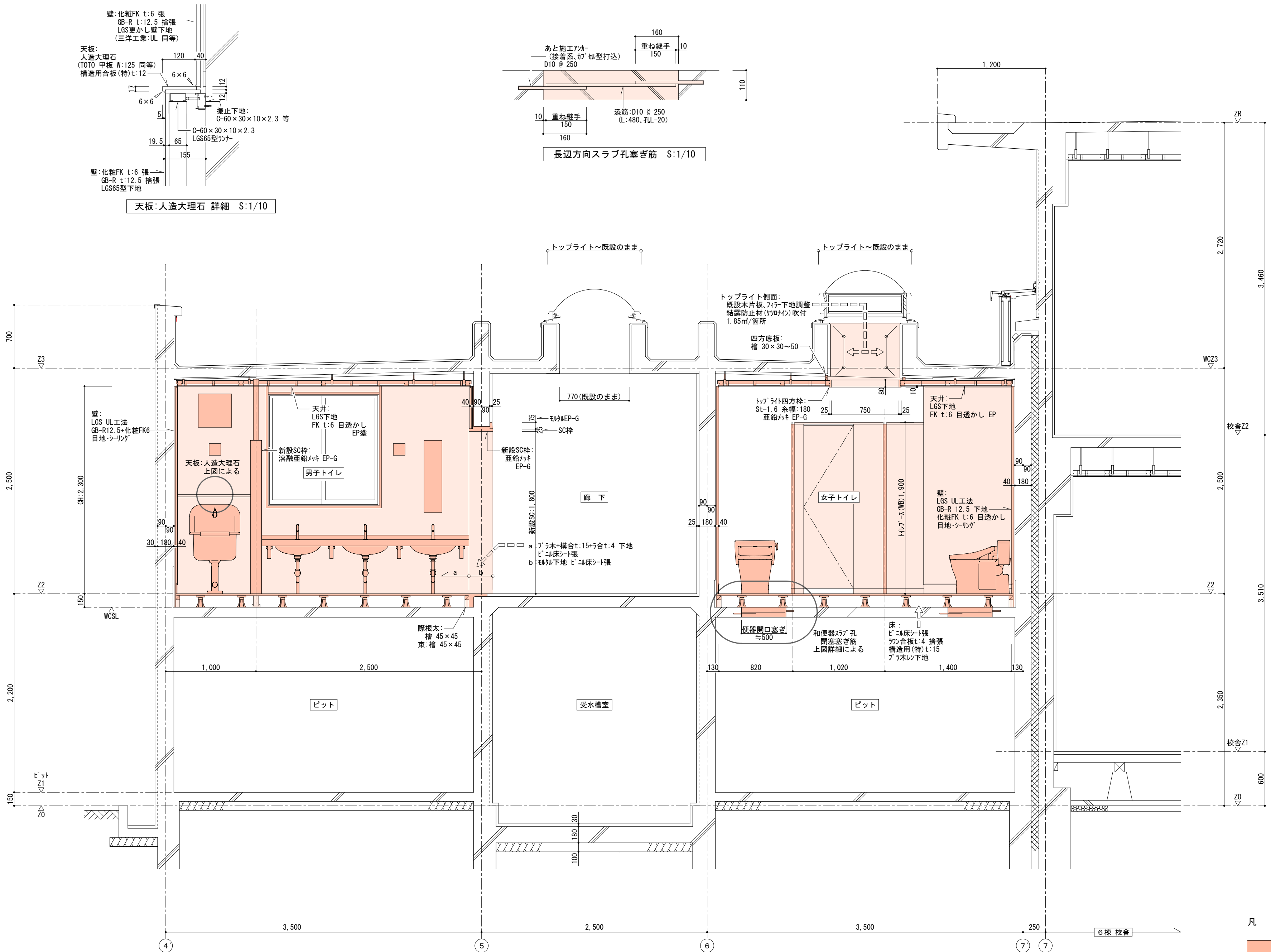




凡 例

撤去部分を示す

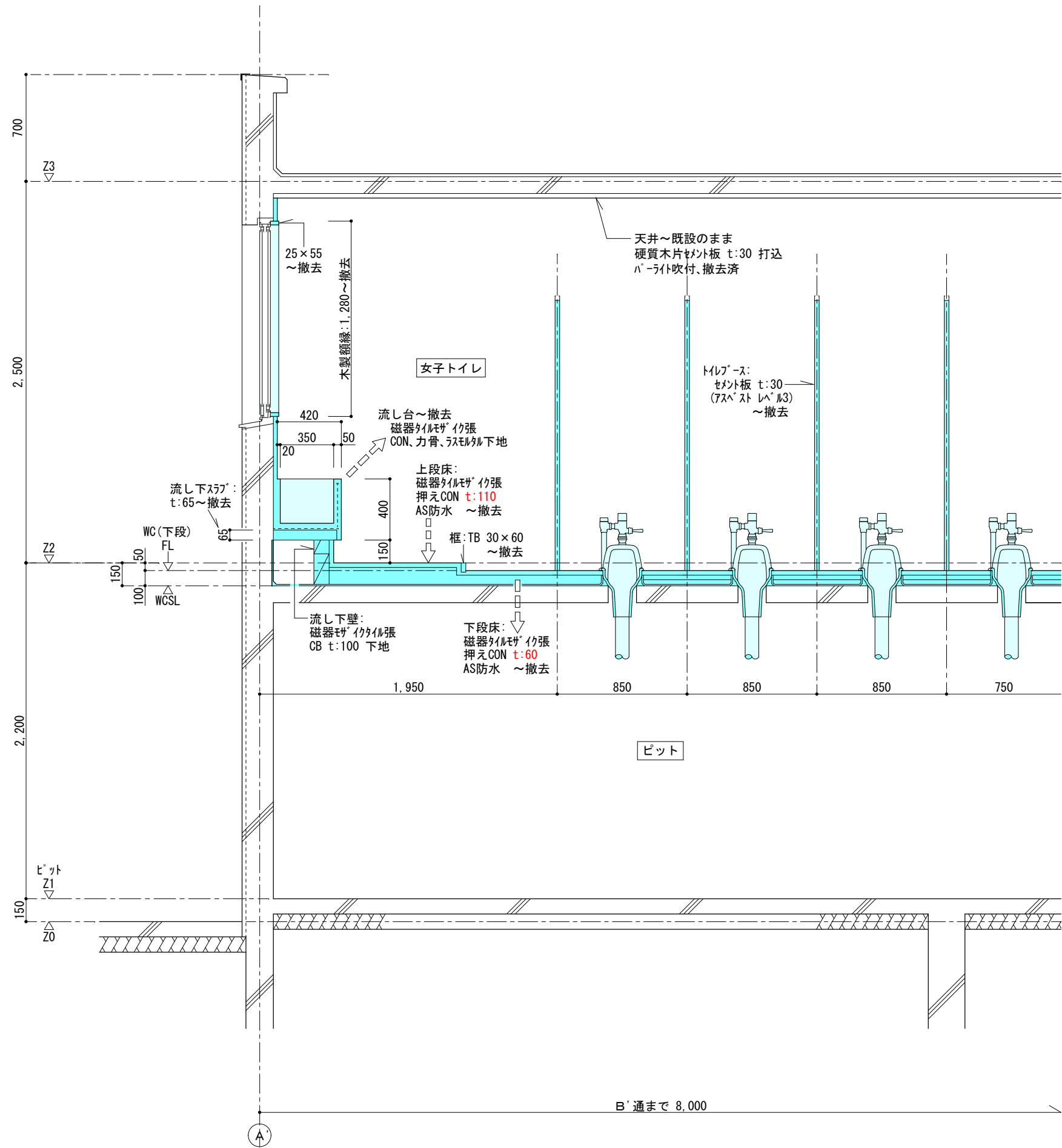
図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
A-14	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	【既設・撤去】矩計図	1/30 (A3版:71%)	R 07.12			



凡 例

改修部分を示す

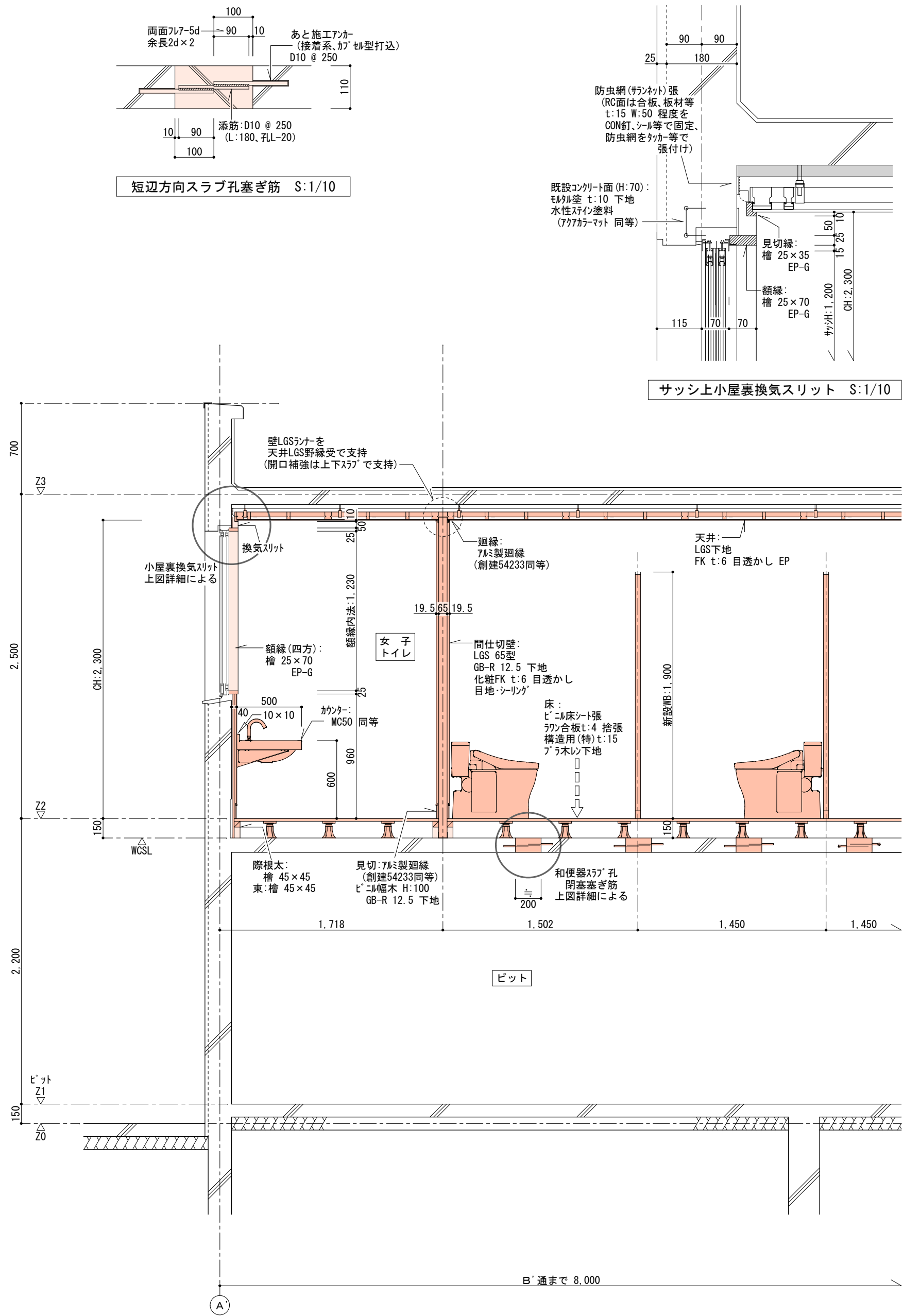
図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
A-15	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	【既設・撤去】矩計図 1	1/30 (A3版:71%)	R 07.12			



【既設・撤去】矩計図 2

凡 例

撤去部分を示す

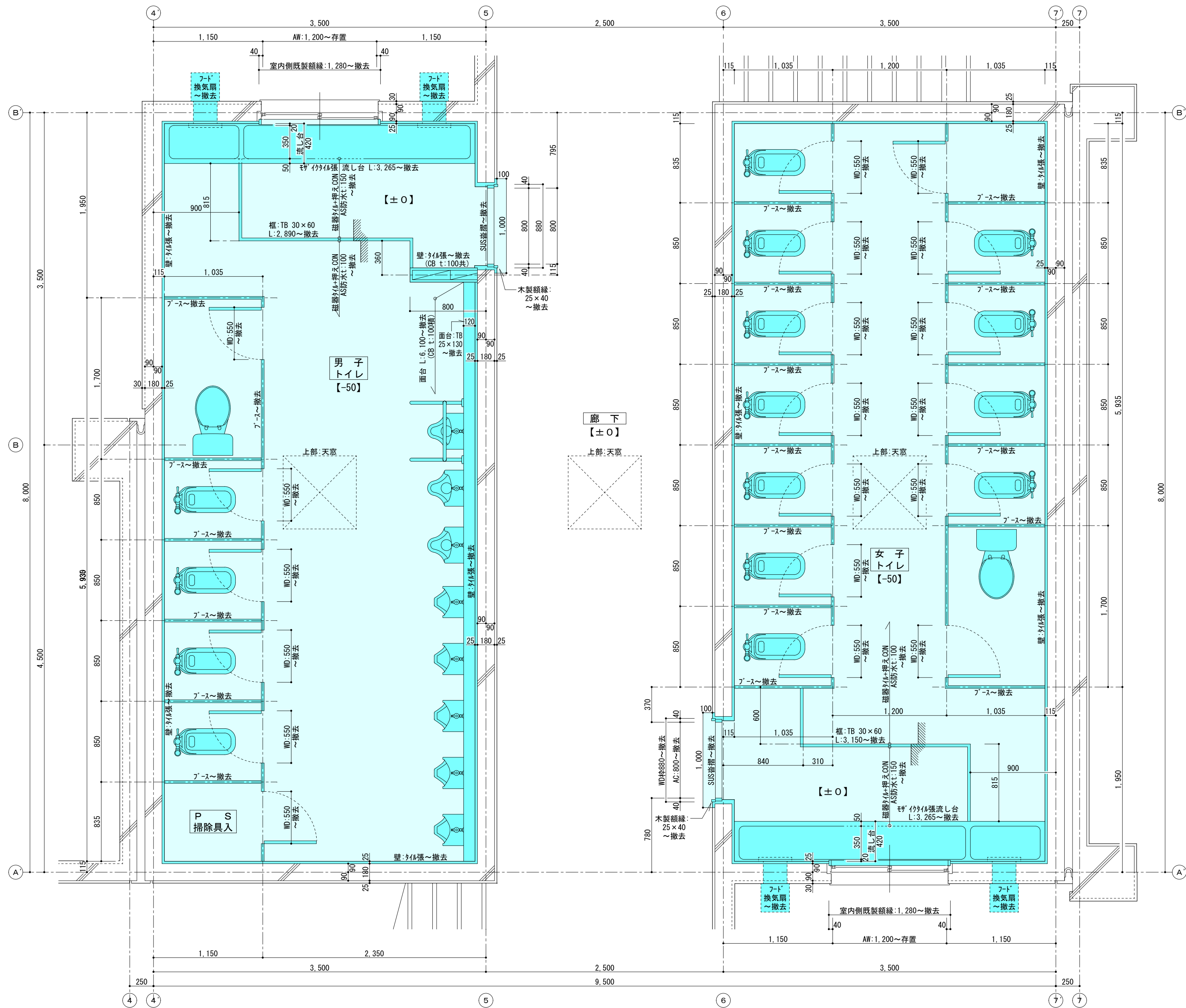


【既設・撤去】矩計図 2

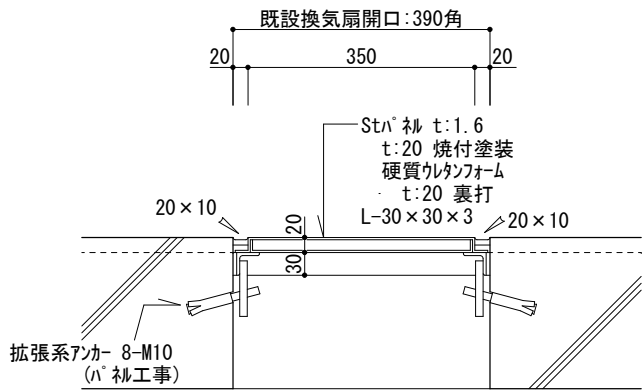
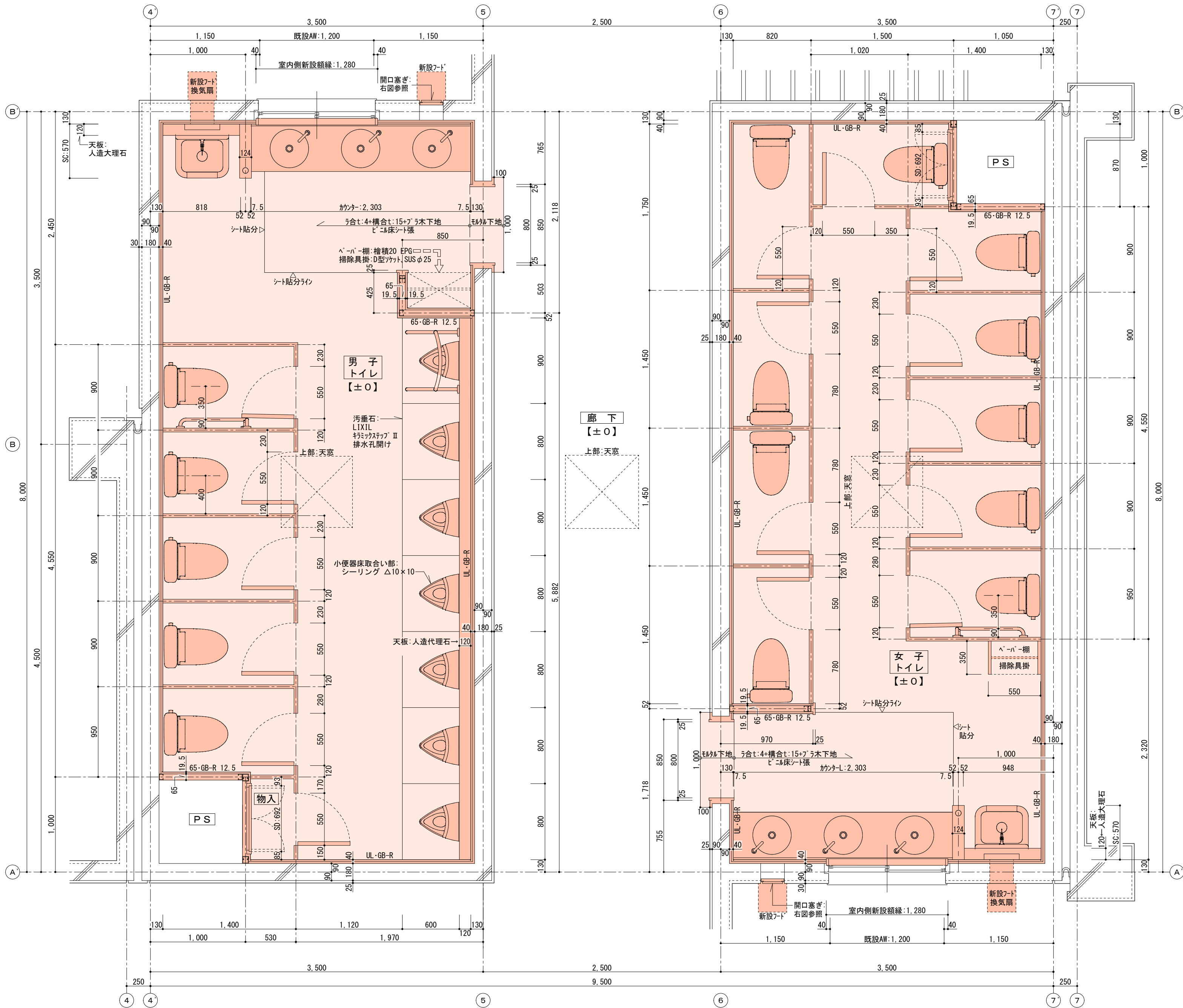
凡 例

改修部分を示す

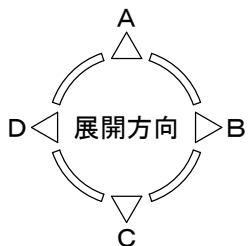
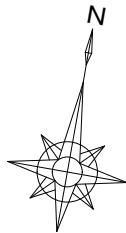
図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
A-16	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	【既設・撤去、改修後】矩計図 2	1/30 (A3版:71%)	R 07.12			



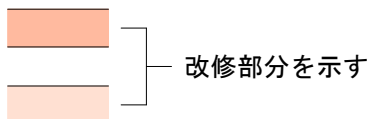
図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
A-17	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	【既設・撤去】平面詳細図	1/30 (A3版:71%)	R 07.12			



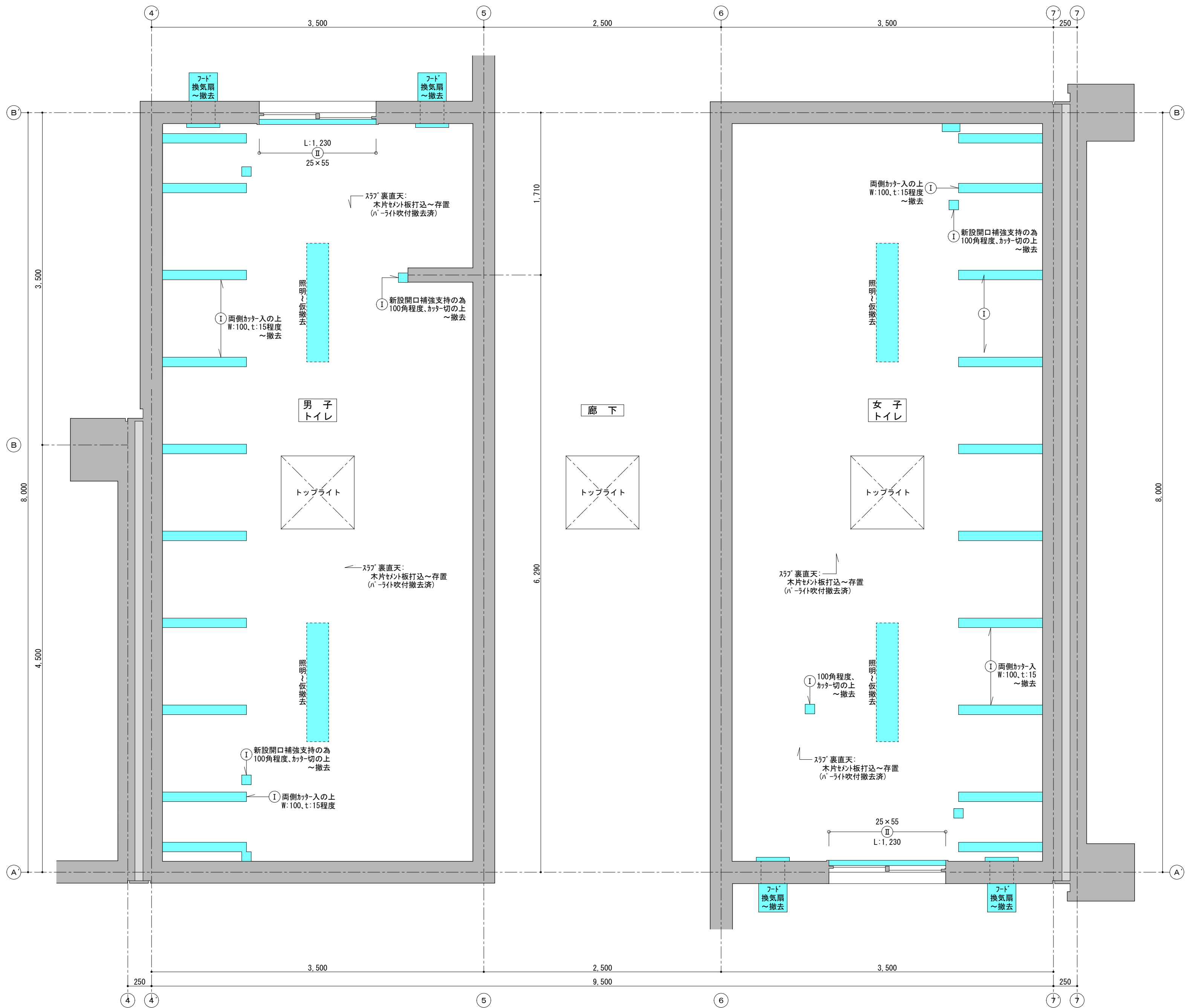
既設換気扇開口塞ぎ 詳細 S:1/10



凡 例



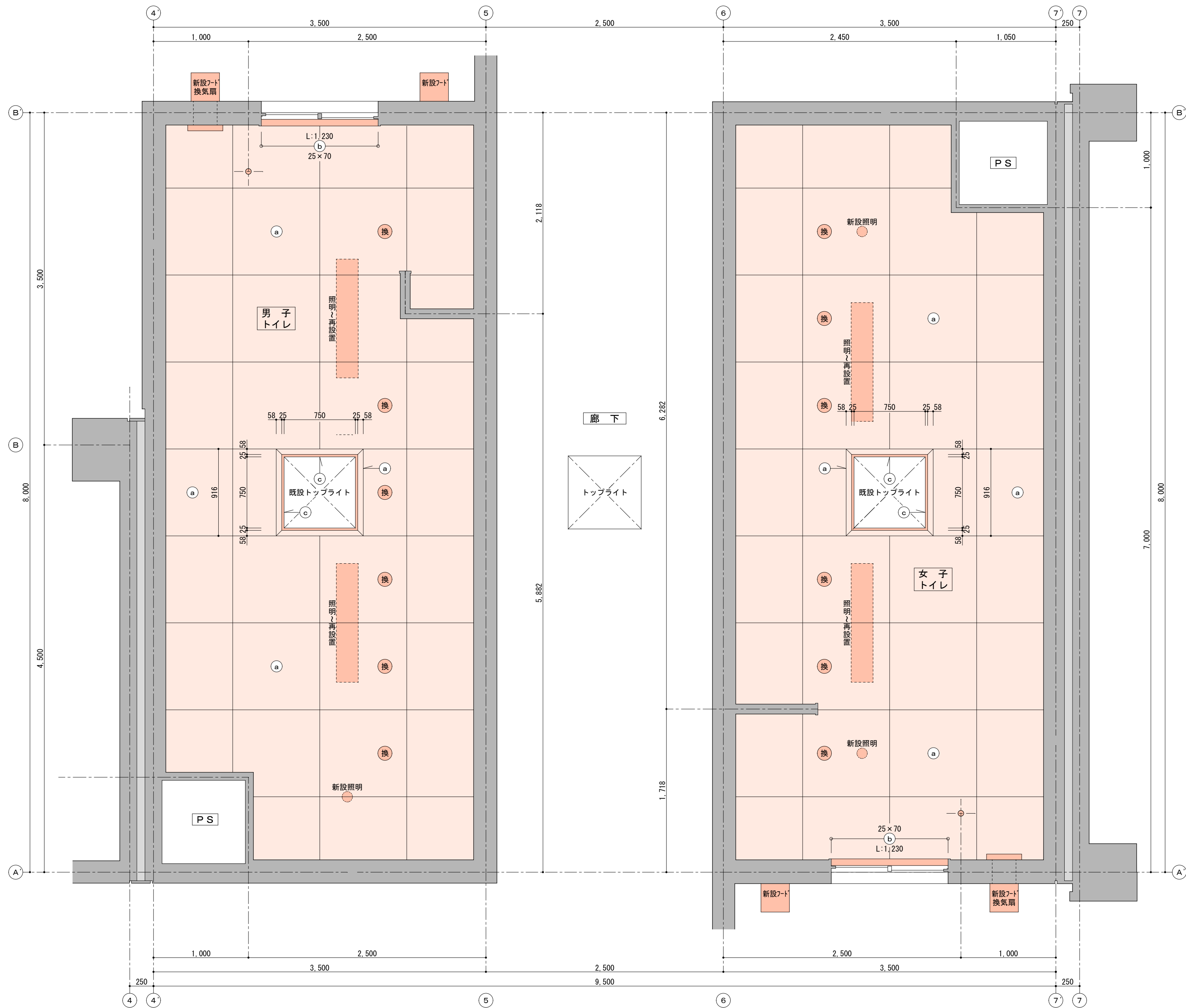
図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県高知市いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
A-18	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	【改修後】平面詳細図	1/30 (A3版:71%)	R 07.12			



凡 例

撤去部分を示す

撤去仕上表	
I	木片セメント板打込～撤去(コンクリートスラブ 下地)
II	木製額縁～撤去

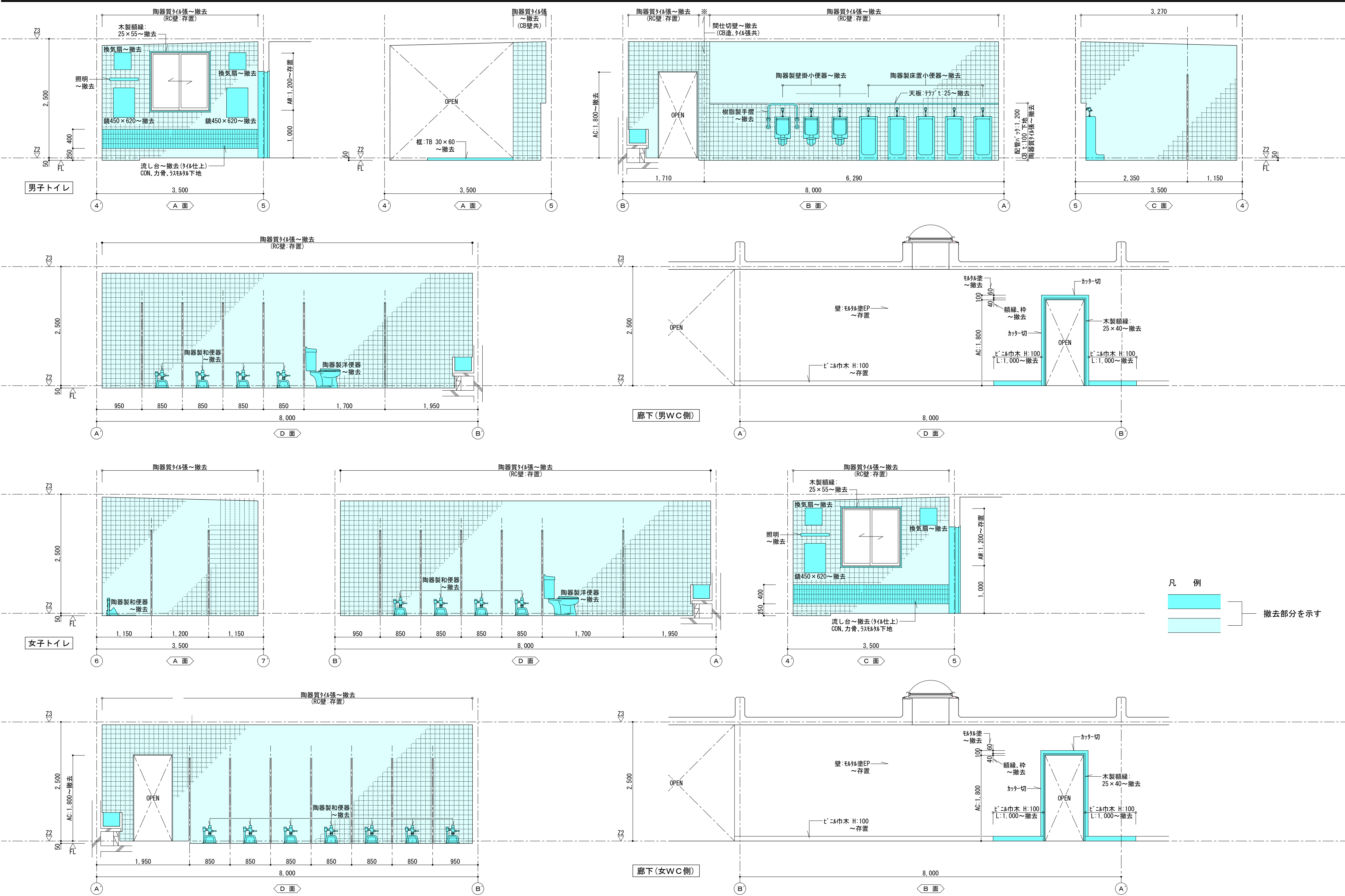


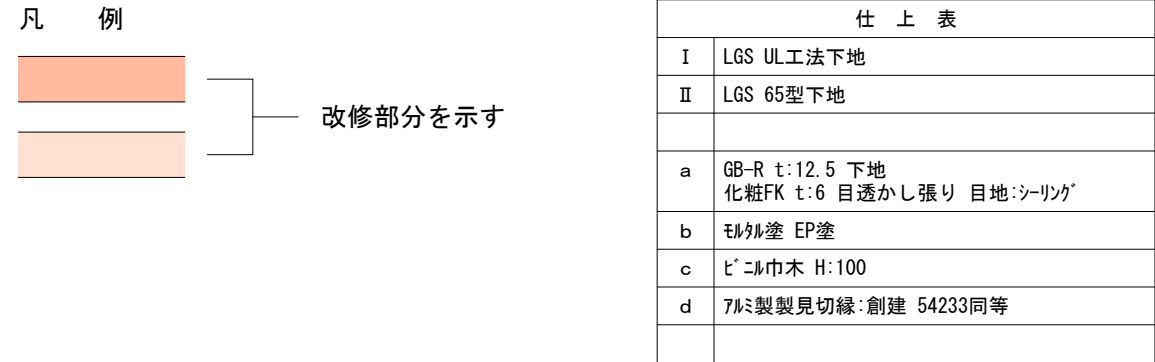
凡 例

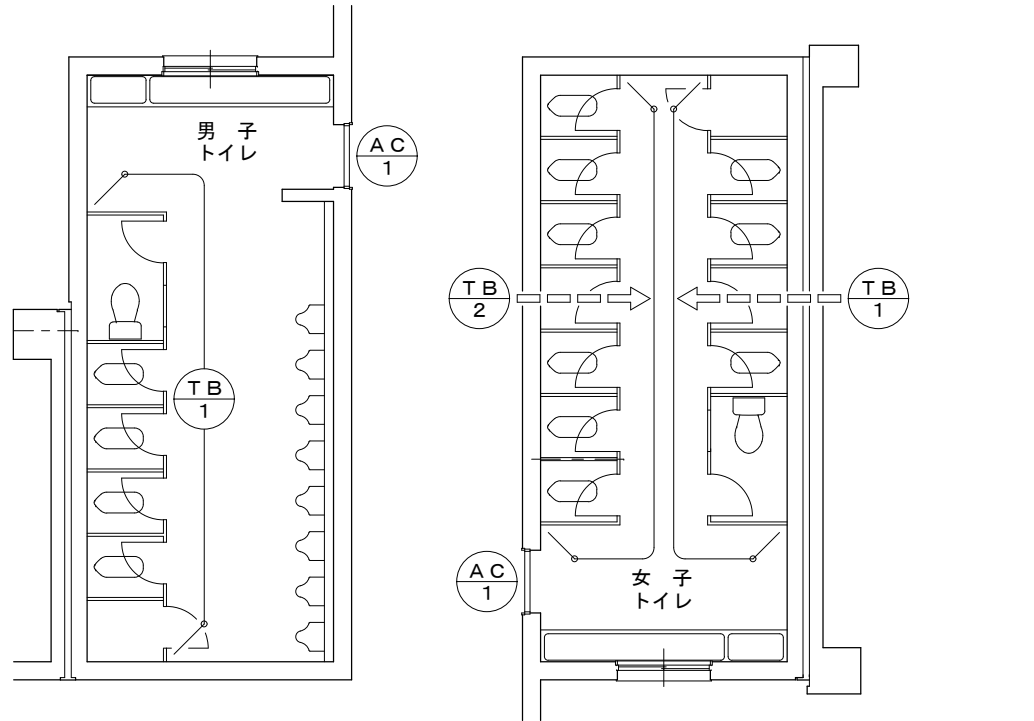
改修部分を示す

改 修 仕 上 表

a	LGS19型下地 FK t:6 目透かし張り EP塗
b	檜(上小節)EP-G塗
c	見切縁:亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗
換	天井裏換気口:φ100(Nasta KS-V31G同等)

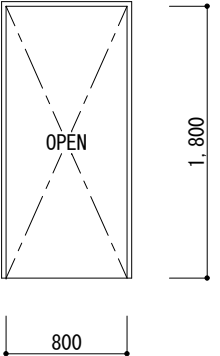
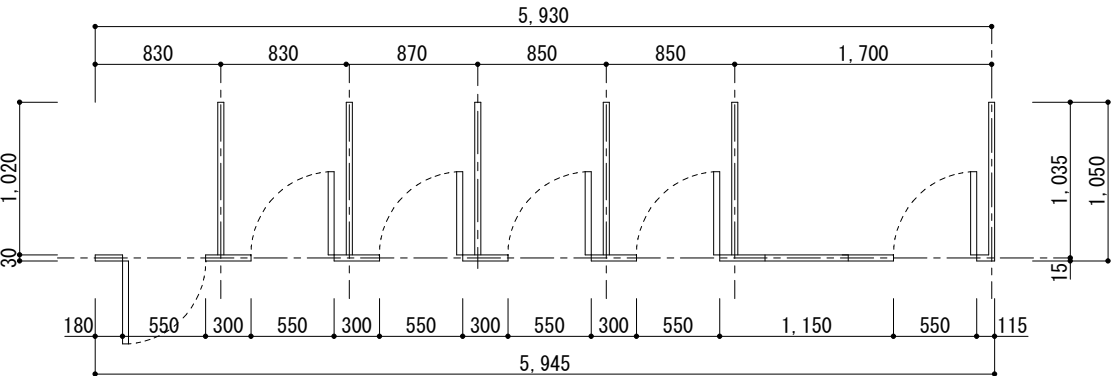
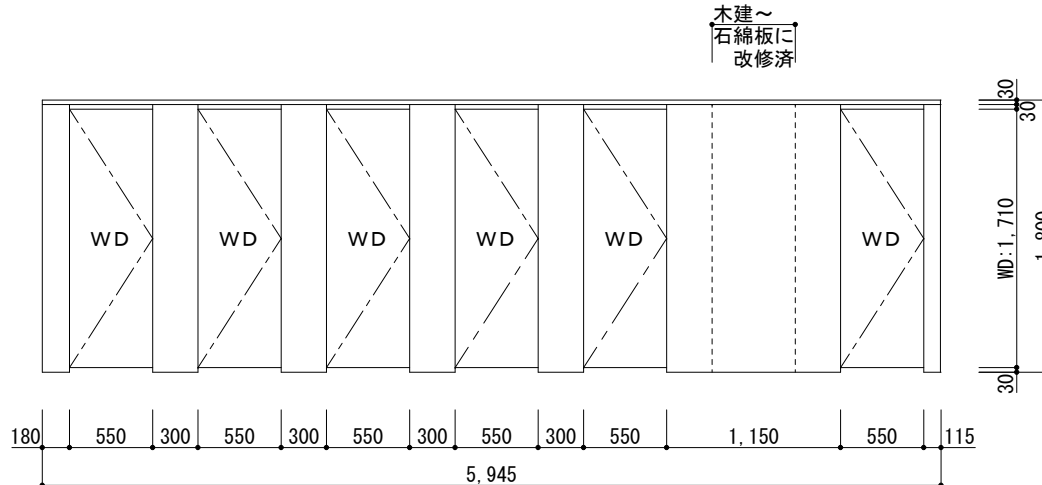
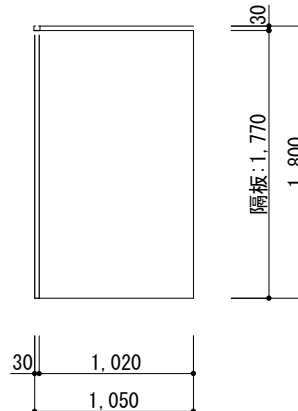




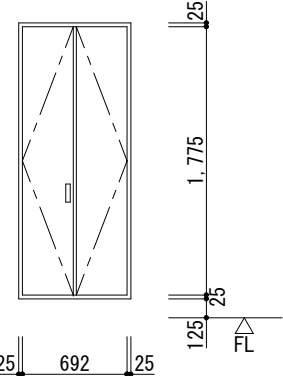
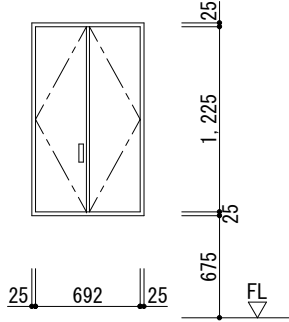
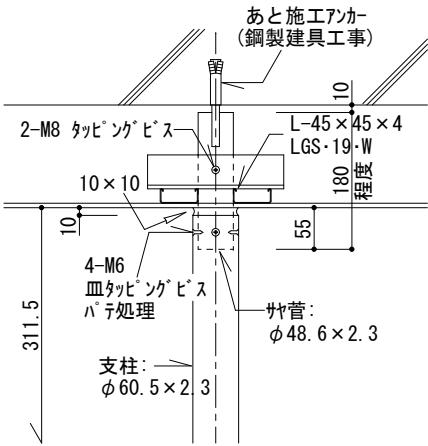
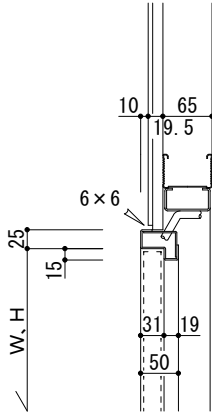


22棟【既設・撤去】建具配置図 S:1/100

1・建具記号
A C :7㍓製三方枠
T B :トイレノス
W D :木製建具

建具 記号	場 所	【撤去/改修】	A C 1	男子、女子トイレ	【撤去】	T B 1	男子、女子トイレ	【撤去】				
	箇 所	表面処理		2箇所			2箇所					
※ 図												
	種類・材質	7㍓製三方枠 (AD枠、扉撤去済)		トイレ・ス／スレート板 t:30、扉:木製フラッシュ戸 (見込:30)								
	寸 法	W:800×H:1,800 (見込:70)		L:5,945 × D:1,050 × H:1,800								
	金 物			ﾗｲﾝﾄﾘｰﾐﾝｸﾞ、ﾗｯﾁ、戸当り、ｽﾃﾝﾚｽ製頭繫ぎ								
	そ の 他			吝摺:ｽﾃﾝﾚｽ W:40～撤去		隔板撤去～石綿含有成型板の撤去(ﾚﾍﾞﾙ3)に該当						
建具 記号	場 所	【撤去/改修】	T B 2	女子トイレ	【撤去】							
箇 所	表面処理	1箇所										

建具記号	場 所		S C 1	男女トイレ入口		S C 2	男女トイレ		S C 3	女子トイレ	
	箇 所	表面処理		2 箇所	EP-G塗		2 箇所	EP-G塗		2 箇所	EP-G塗
				姿 図							
				種 類	鋼製三方枠	鋼製一方枠		鋼製見切縁 + 支柱		鋼製見切縁 + 支柱	
				材 質	三方枠:亜鉛メッキ鋼板 t:1.6	一方枠:亜鉛メッキ鋼板 t:1.6		見切縁:亜鉛メッキ鋼板 t:1.6 + 支柱:STKMφ60.5×2.3(溶融亜鉛メッキ)		見切縁:亜鉛メッキ鋼板 t:1.6 + 支柱:STKMφ60.5×2.3(溶融亜鉛メッキ)	
				寸 法	W:800 × H:1,900 糸幅:365	L:2,300 糸幅:224		W:570 × H:1,700(糸幅:224) + H:600(φ60)		W:570 × H:1,700(糸幅:224) + H:600(φ60)	
				金 物							
				硝 子							
				そ の 他	製造所において錆止め塗料塗 (JASS 18 M 111) を行う	製造所において錆止め塗料塗 (JASS 18 M 111) を行う		製造所において錆止め塗料塗 (JASS 18 M 111) を行う		製造所において錆止め塗料塗 (JASS 18 M 111) を行う	

建具 記号	場 所		SD 1	男子トイレPS		SD 2	女子トイレPS		
	箇 所	表面処理		1 箇所	扉・枠:焼付塗装		1 箇所	扉・枠:焼付塗装	
姿 図									
	種 類		鋼製両開きフラッシュ戸		鋼製両開きフラッシュ戸				
	材 質		扉:溶融亜鉛メッキ鋼板 t:1.0、枠:溶融亜鉛メッキ鋼板 t:1.6		扉:溶融亜鉛メッキ鋼板 t:1.0、枠:溶融亜鉛メッキ鋼板 t:1.6				
	寸 法		W:692 × H:1,775 (扉見込:25、枠見込:50)		W:692 × H:1,225 (扉見込:25、枠見込:50)				
	金 物		丁番、錠付カヌート $\frac{1}{2}$ ル		丁番、錠付カヌート $\frac{1}{2}$ ル				
	硝 子								
そ の 他		製造所において錆止め塗料塗 (JASS 18 M 111) を行う		製造所において錆止め塗料塗 (JASS 18 M 111) を行う					
建具 記号	場 所		WB 1	男子トイレ					
	箇 所	表面処理		1 箇所	メーカー仕様				

図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号
A-25	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	【改修後】建具表 1	1/50 (A3版:71%)	R 07.12	一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳		高本建築設計事務所

建具 記号	場 所		WB 2	女子トイレ							
	箇 所	表面処理		1 箇所	メーカー仕様						
姿 図											
	種 類	トイレノース(ステンレスレジ)									
	材 質	高圧メラミン樹脂化粧板、芯材:バーク									
	寸 法	L:6,100 × D:820 × H:1,900(バーク厚:40)									
	金 物	巾木:ステンレス、中心吊りグレヒベンジ、非常時解錠付スライドラッチ、ストライク、戸当たり									
	硝 子										
	そ の 他	バーク補強									
建具 記号	場 所		WB 3	女子トイレ							
	箇 所	表面処理		1 箇所	メーカー仕様						
姿 図											
	種 類	トイレノース(ステンレスレジ)									
	材 質	高圧メラミン樹脂化粧板、芯材:バーク									
	寸 法	L:4,550 × D:1,400 + 2,400 × H:1,900(バーク厚:40)									
	金 物	巾木:ステンレス、中心吊りグレヒベンジ、非常時解錠付スライドラッチ、ストライク、戸当たり									
	硝 子										
	そ の 他	バーク補強									
建具 記号	場 所		AW 1 改修	男女トイレ							
	箇 所	表面処理		2 箇所	電解着色(シルバー)						
姿 図											
	種 類	アルミ製引き違い窓									
	材 質										
	寸 法	W:1,200 × H:1,200									
	金 物	新設網戸(樹脂製)、アンクルヒース取替									
		その他:既設のまま									
	そ の 他	硝子:既設のまま(PW t:6.8)									
図面番号		工事名称		図面名称		縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所	
A-26		令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事		【改修後】建具表 2		1/50 (A3版:71%)		R 07.12			一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳

電気設備工事特記仕様書

工 事 概 要

1. 工 事 名 称	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事
2. 工 事 場 所	吾川郡いの町 枝川小学校（吾川郡いの町枝川2964-1）
3. 工 事 予 定 期 間	
4. 建 物 概 要	校舎トイレ 洋式・乾式化工事

建 物 名 称	構 造	階 数	延面積（㎡）	消 防 法 施 行 令 別 表 第 一	消 防 法 無 窓 階 確 認	建 築 基 準 法 無 窓 階 確 認
小学校・校舎	R C 造	2 階	㎡	項		

5. 工事種目	建物別及び屋外	小学校 校舎				
工事種目						
高 圧 受 変 電 設 備						
幹 線 設 備	○					
動 力 設 備						
電 灯 設 備	○					
弱 電 設 備						
放 送（非常放送）設備						
外 灯 設 備						
非常灯・誘導灯設備工事						
自 動 火 災 報 知 設 備						
太 陽 光 発 電 設 備						
自 家 発 電 設 備						
構 内 配 電 線 路						
構 内 通 信 線 路						

6. 施工準備（本工事は下記に準拠し係員の指示により施工すること）
現場説明事項
設 計 図 書
四国電力内線工事規定及び外線工事要領
電気設備に関する技術基準 建築基準法 消防法
国土交通省公共建築工事標準仕様書 N T T 電話用配管工事指針

7. 一般、共通事項	
(1) 疑 義	工事施工上又は製作上不審の点あるいは疑義のある場合は入札前に申し出ることその後においては監督員の指示に従うこと。
(2) 手続きの代行	官公庁ならびに四国電力（株）との手続き検査等については請負者の責任において代行し、尚、経費は請負者の負担とする。
(3) 主任技術者の駐在について	工事期間中は現場代理人（工事に経験のある主任技術者）をして建築及び他設備業者との打合せを完全に行い工事の進捗に差支えないようにしなければならない。
(4) 工程表	契約後直ちに原図で提出し係員の承認を受けた後3部焼増し提出すること。
(5) 提出図面	(イ) 施工図 建築および他設備業者と充分打合せを原則として縮尺1／50で（簡単なものは1／100にて可）強弱電等総ての配線図での配線図を作成し取付、その他詳細仕様を書き込んだものを原図にて提出し承認を受けてから必要部数焼増しして提出すること。 (ロ) 製作図 現寸を原則として原図で提出し承認を受けて焼増しし3部提出すること。
(6) 現場写真	手札型以上とし配管配分電盤その他機器取付、並びに係員の特に指示する場所を黒白（特に指定する場合はカラー）でよい。撮影しアルバム（スクラップブックでも可）に貼付けて1部提出すること。尚ケーブル配線、ハンドホール、アース板の掘削についてはスケールを当て分電盤の立下り部分には標示板をそえて撮影すること。
(7) 建築等の補修	本工事の施工の際、建物その他を損傷した場合は監督員に申し出てその指示に従い同一材料をもって、すみやかに補修すること。
(8) 機器材料の選定	(イ) この工事に使用する材料機器および材料については指定名簿に記載してあるものは、その中より選定し記載していないものについては請負者において適当に選定し、いずれも係員の承認を受けること。
(9) 検査および試験	(イ) この工事に使用する材料機器のうち係員が指定するものについては、工場検査を行う。 (ロ) 工事完了時には監督員その他関係者の立会の上、各設備の機能、絶縁、接地抵抗検査等を行う。
(10) 軽微な変更	工事施工に際し現場の納り、若しくは取合の都合上器具の取付位置、器具の意匠取付方法等の変更は係員の指示に従って行う。この場合においては請負金額は増減しない。
(11) 高圧ケーブルの埋設標（国土交通省規格）	変電室の出入口には消防法による変電室の標示（150×300白地に黒字）と立入制限表示（巾150×100）白地に赤字を指示の場所に取付けること。

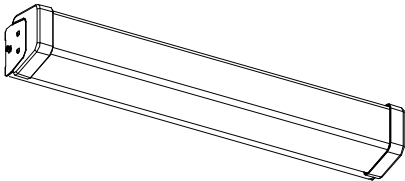
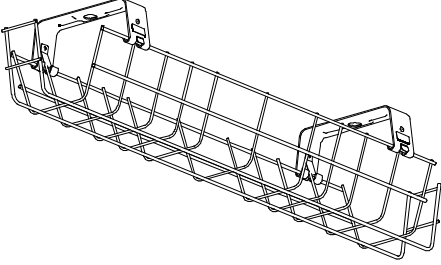
(12) 構内埋設線路	埋設深さ 特記なきは600以上とする。 舗装のある場合は路盤下600以上とする。 地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。 地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シートを管頂と地表面の中間に設ける。
(13) 埋設表示	避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製 上記以外の接地極及び地中配線の表示 100角×300角のコンクリート杭、又は鉄製ピンとする。
(14) その他	ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。 呼び線 長さ1m以上の入線しない管路には1.6mm以上の1V電線を挿入する。 フラッシュプレート材質は ① 樹脂製モダン ② 新金属 ・ ステンレスとする。
(15) 防火区画等の貫通について	建築基準法、消防法に係る貫通部については、国土交通大臣認定品又は、(財)日本消防設備安全センター性能評定品を使用して施工を行うこと。 以下、参考 建築基準法：建築基準法施工令 第129条の2の5 消防法：令8区画について 消防庁通知 消防字第53号 共住区画について 総務省令第40号、消防庁告示第2号、第3の3、消防庁告示第4号

8. 工 事 内 容		
電 灯 設 備	1.工 事 範 囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器等取付
	2.電 気 方 式	・ 単相3線式 100/200V 60Hz
	3.機 具 等	○ 単相2線式 ・ 100V ・ 200V ・ DC100V ・ 48V ・ 24V ・ 12V
	4.器 具 の 接 地	○点滅器 ○連用 ・ 単体
	5.吊 ボ ル ト	○コンセント・連用・単体（20A以上3P以上等特殊形はキャップ付）
	6.分 電 盤 予 備 回 路	○LED器具のFL40W相当以上及び防水器具はすべて接地する。
	7.非 常 用 照 明 装 置	○照明器具の取付に際して、下記の吊ボルトを使用する。
	8.非 常 用 照 明 装 置 の 電 源	20W×2本以上～40W×3本まで 9φ×2本
	9.引 留 金 物 等	500mm角まで 9φ×1本
	10.電 線 ・ ケ ー ブ ル	600mm角以上 9φ×4本
	・分電盤予備回路の配管（4回路以下は（25）×1、5回路以上は（25）×2は次のように施工する。 天井スラブの場合：天井または梁下200mmまで立下げ中深アウトレットボックスにカバープレート取付 二重天井の場合 ：天井内まで立上げキャップ止め ・「非常用の照明装置に関する指針」（国土交通省監修）による ・器具内蔵式・蓄電池別置式（H形54セル・10分間容量・30分間容量） ・フックボルト（0W、DV14°相当以下） ・アンカーボルト（DV22°相当以上） ○EM-GE ○CEE ○CET ○IE ○EEF ・ IV ・ VVF ・ CV ・ CVT ・ CVV ・ FP	

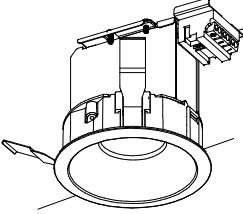
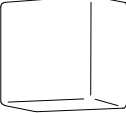
9. 資材の指定	
1. 電 線 及 び ケーブル	6 社品・矢崎・タツタ・西日本・カワイ
2. 電 線 管	J I S マーク表示品
3. 照 明 器 具	パナニック電工・東芝・三菱・日立・小糸工業・岩崎・オーデリック・山田・大光・ヤマギワ・小泉・図示品
4. 配 線 器 具	J I S マーク表示品
5. 配分電盤（製作品）	光電設・共栄電機工業・イトウテック・田村器械・川崎電気・山菱電機
6. 配分電盤（既製品）	日東・河村・パナニック電工・東芝
7. 換 気 扇	三菱・パナニック電工・東芝・日立・栗田
8. 自動火災報知器	能美・ニッタン・沖・ホネ・パナニック電工
9. 放 送 機 器	パナニックSS・T O A ・東芝・ビクター・ソニー・日本トランペット・コロンビア
10. T V 機 器	八木アンテナ・パナニックSS・D X ・マスプロ電工
11. 自家発電設備工事	ヤンマー・三菱・日立・久保田・東芝
12. 電 話 設 備 工 事	富士通・日立・日本電機・沖電気工業・岩崎通信・パナニックSS
13. 電 気 時 計	松下・沖・T I C
14. イ ン ター ホ ン	パナニック電工・アイホン・東芝・ケアコム

無断複製不可

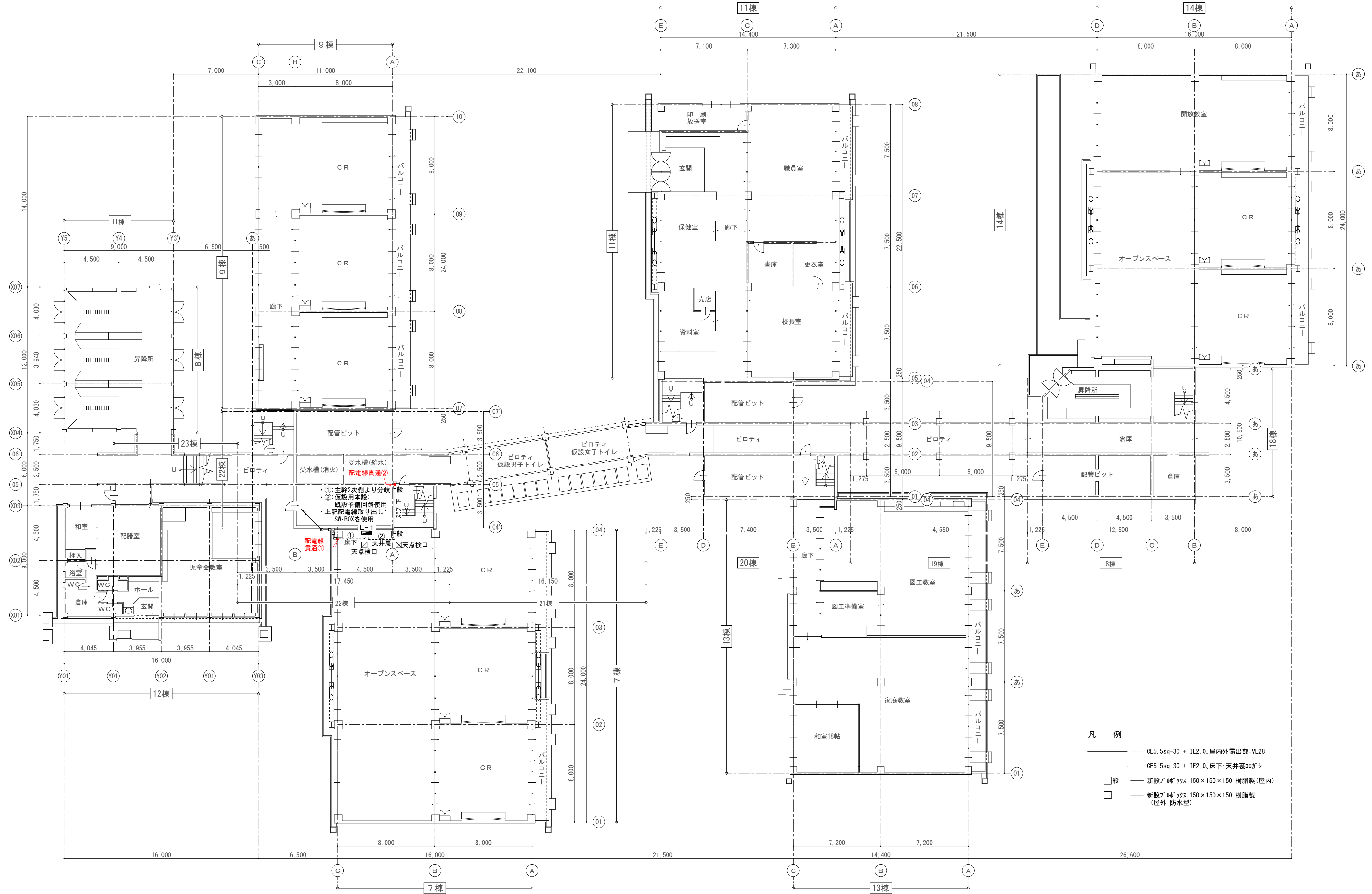
仮設トイレ照明器具姿図

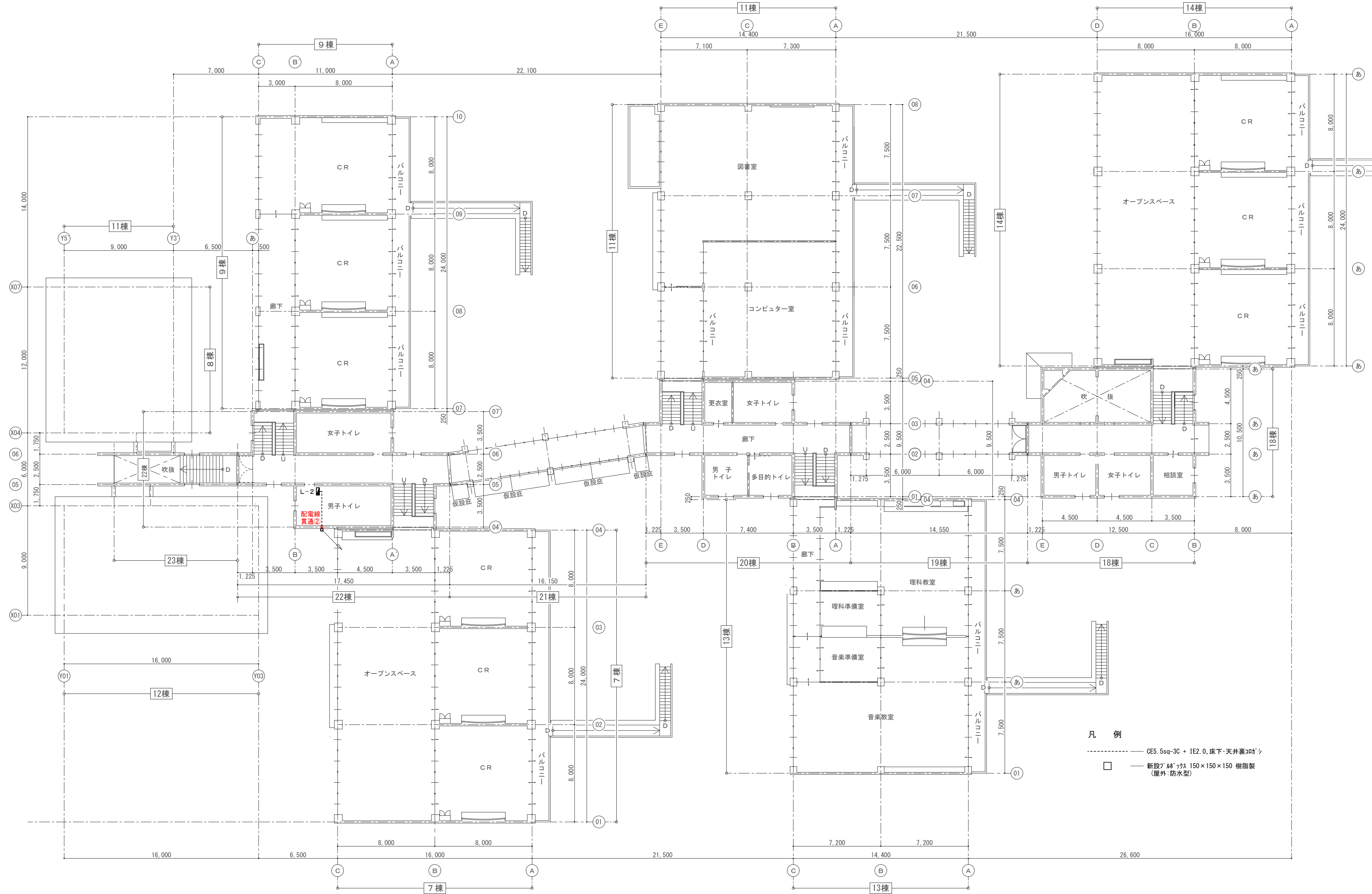
①	20形 高出力タイプ プラケットWP	②	ガード
			
プラケット Ra85 100V～242V共用タイプ 段調光機能付 本体：ステンレス鋼板 白色塗装 光源寿命：40,000時間（光束維持率85%） 光束：2000lm 消費電力：13.6W 消費効率：147lm/W 三菱 EL-LR-WF1300N/2 AHTN		三菱 GAFS7	

新設照明器具姿図

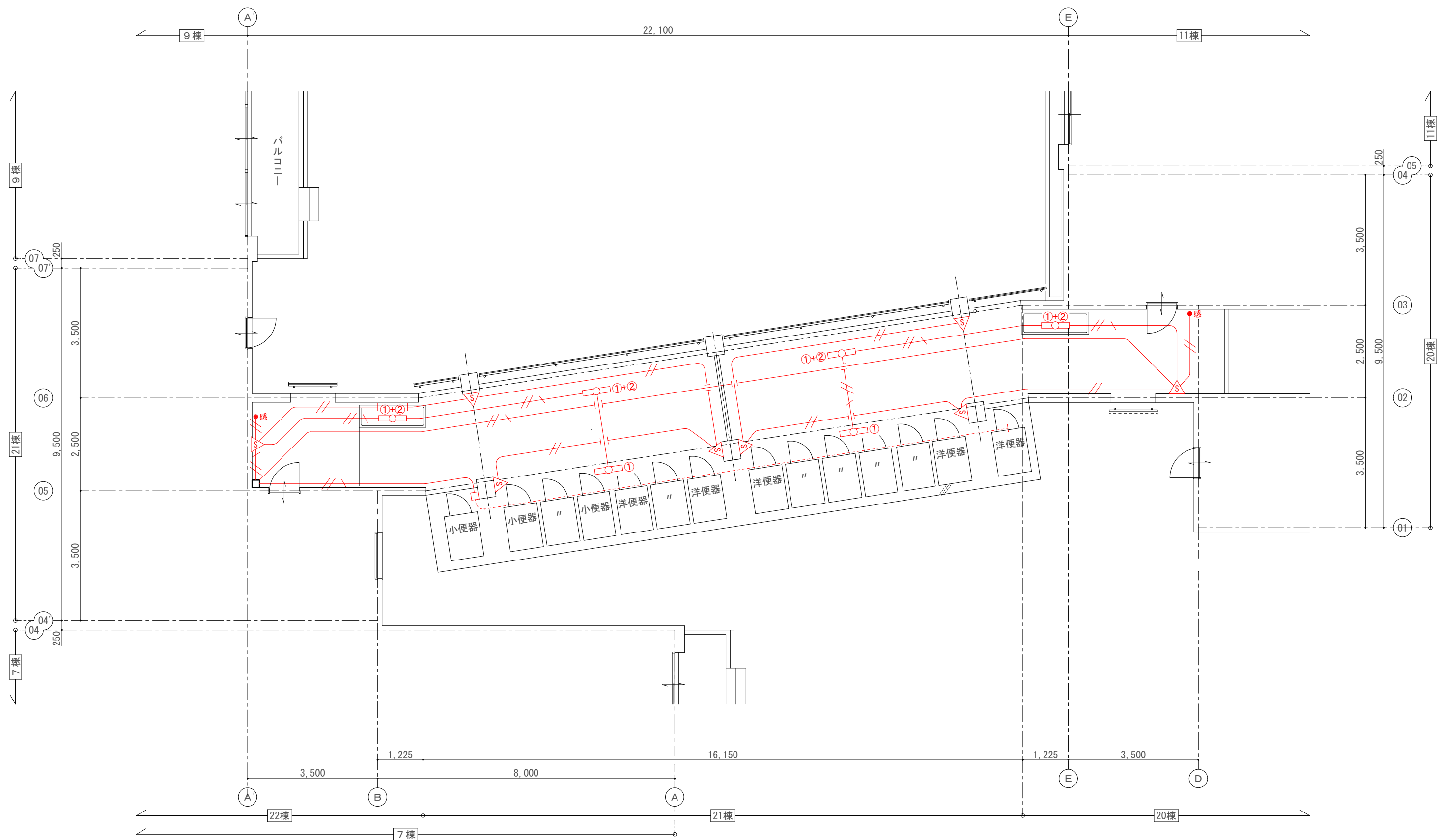
A	ｸﾗｽ150 50K 一般形MC DLφ100	B	LEDブラケット 60形電球1灯器具相当
			
ｸﾞﾗﾝﾗｲﾄ 昼白色(5000K) Ra83 AC100V～242V共用タイプ 固定出力 光源寿命：40000時間 光束：1540lm 消費電力：11.3W 消費効率：136.2lm/W 埋込穴：φ100 三菱 EL-D00/1(152NM) AHN		昼白色（5000K）、Ra83 器具光束460lm、消費電力4.5W、電圧100V 壁直付型、ツマミネジ方式、拡散タイプ カバー：アクリル（乳白つや消し） W=135 H=135 出しろ90 パナソニック LGB81700LE1	

図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
E-01	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	特記仕様書、照明姿図	1/30（A3版：71%）	R 07.12			



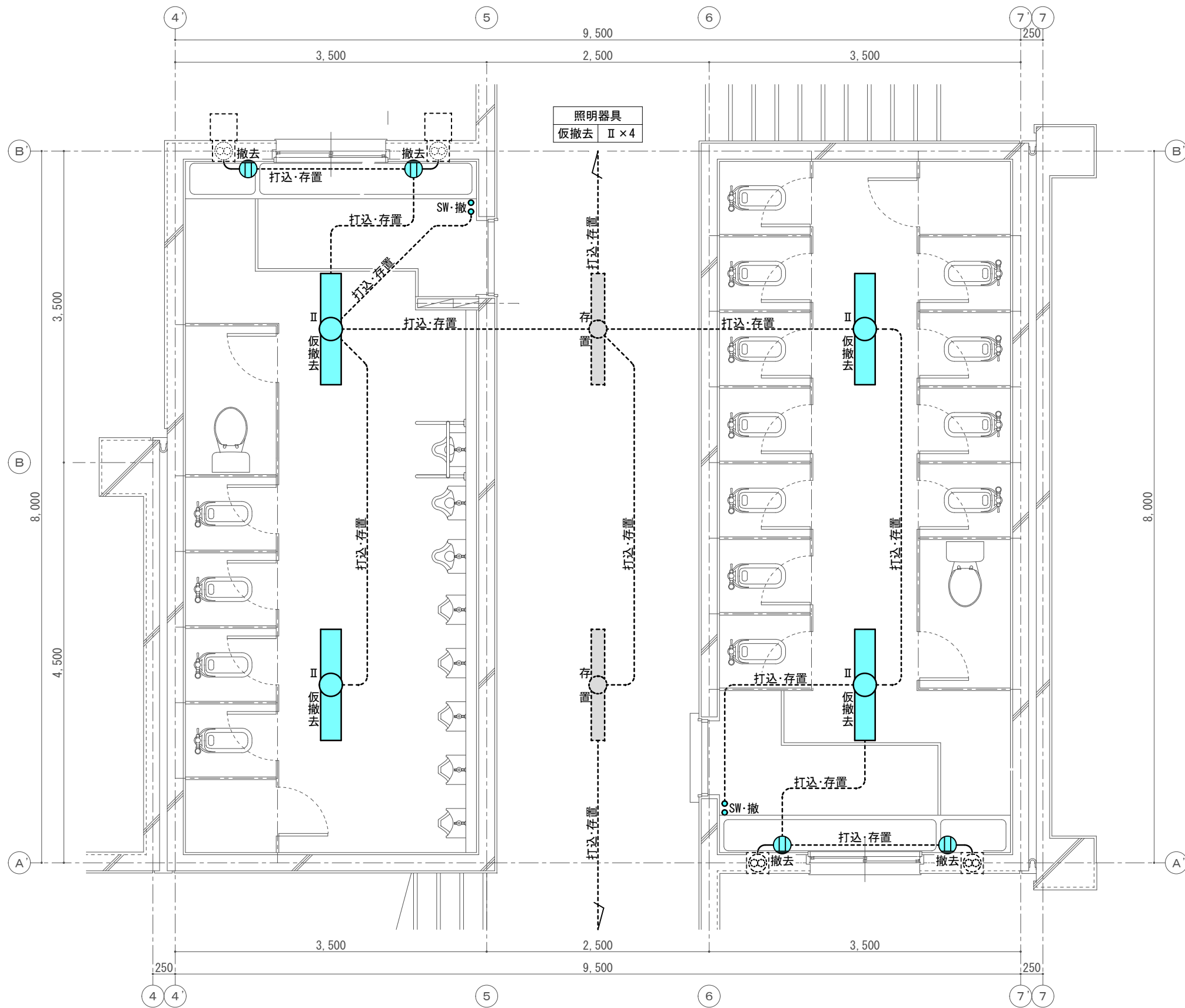
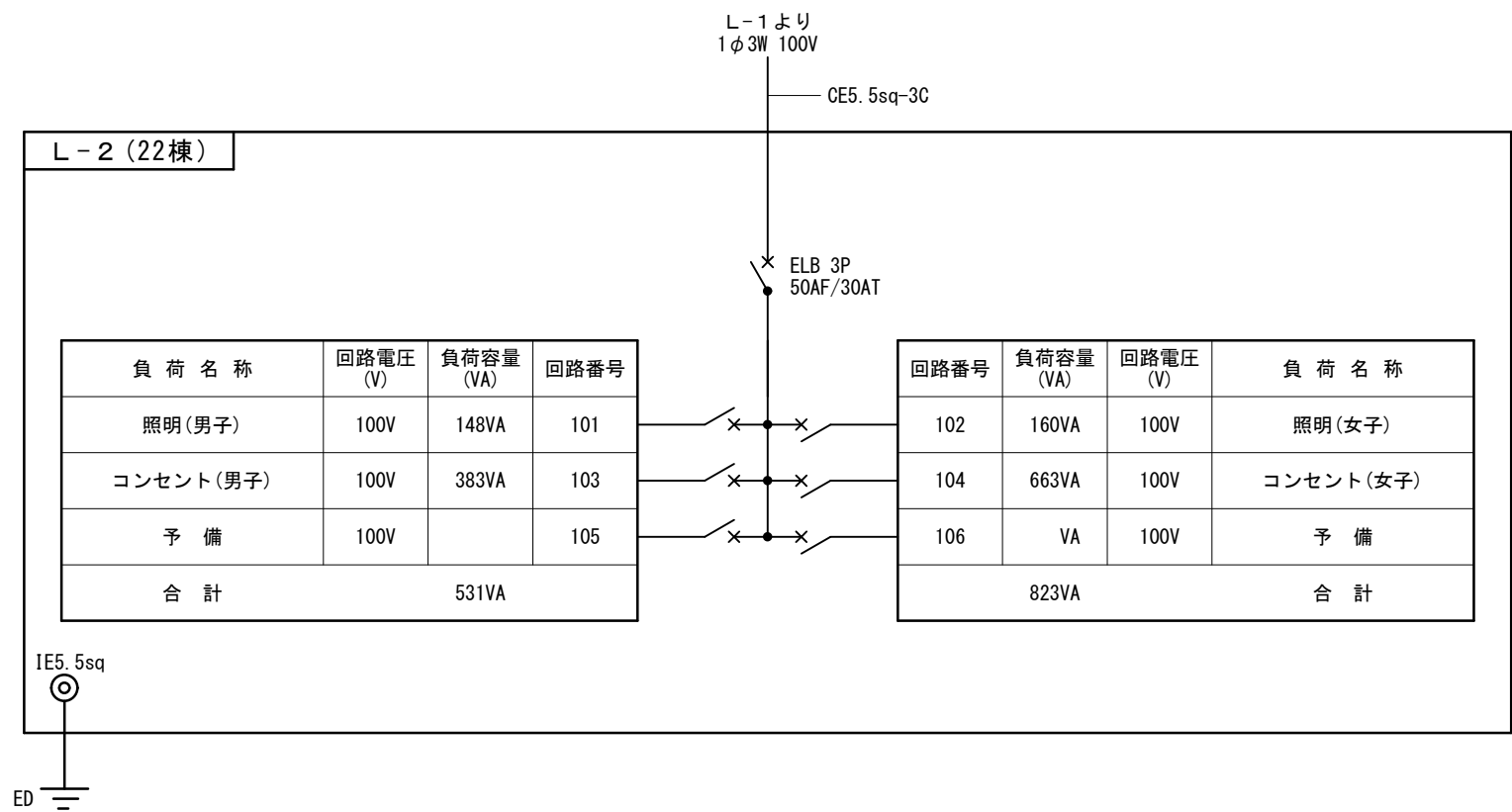


図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
E-03	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	幹線 2 階平面図	1/200 (A3版:71%)	R 07. 12			



- 凡 例
- //— EEF1. 6-20 (VE16)
・撤去しない 翌年度仮設、及び以降も継続使用
 - //— EEF1. 6-30 (VE16)
・撤去しない 翌年度仮設、及び以降も継続使用
 - EEF1. 6-30 (VE16) (リ-ス側工事・本工事)
・年度毎に設置、撤去
 - 照明設備① : 壁付型 ・2基
①+②: 天井付型・4基
・撤去しない 翌年度仮設、及び以降も継続使用
 - プ-スツクス 150×150×150 樹脂製、防水型
・撤去しない 翌年度仮設、及び以降も継続使用
 - △ 熱センサー 屋外壁付型
・撤去しない 翌年度仮設、及び以降も継続使用

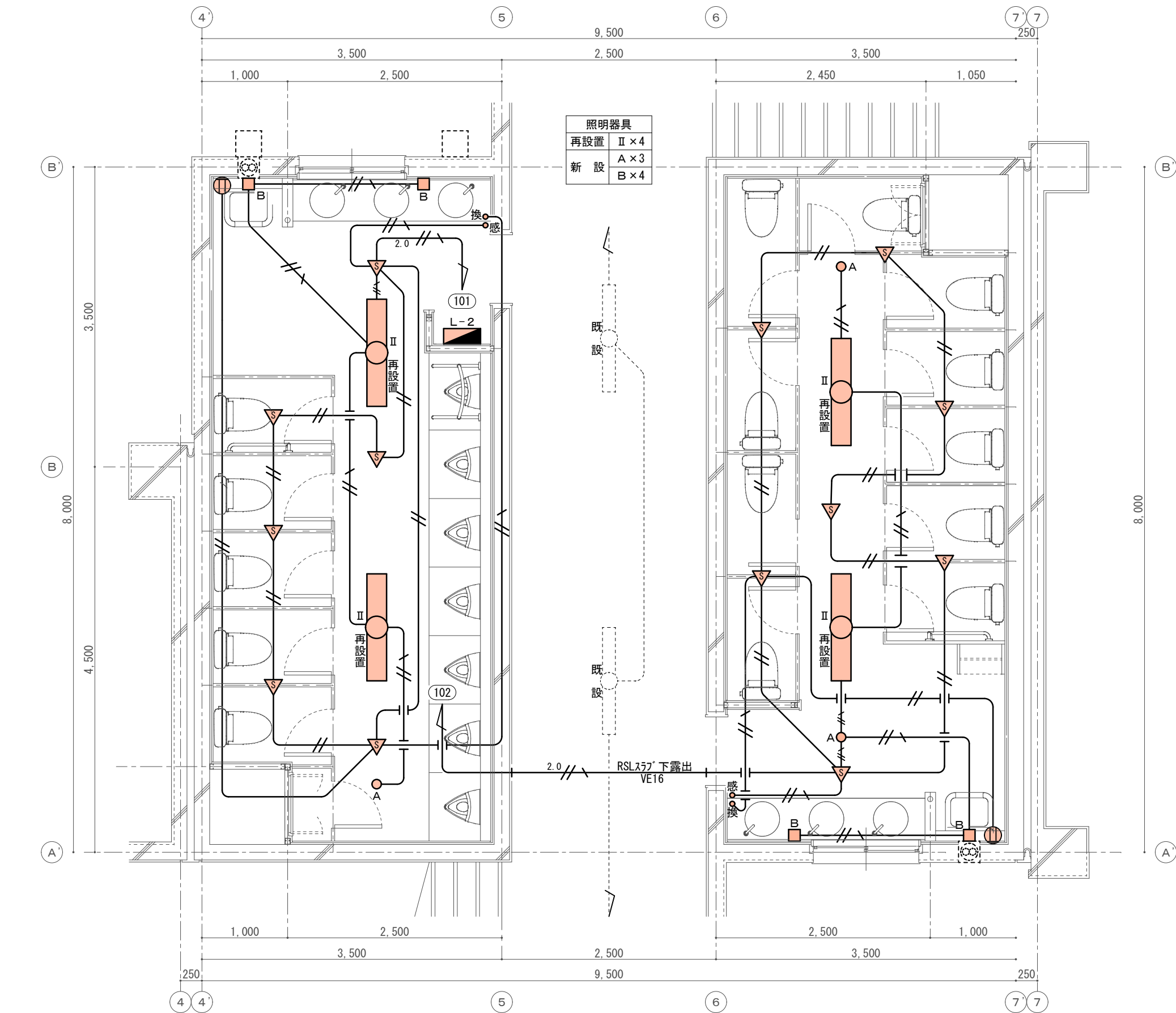
図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
E-04	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	【仮設トイレ用】電灯設備平面図	1/100 (A3版:71%)	R 07.12			



【既設・撤去】平面詳細図

凡 例

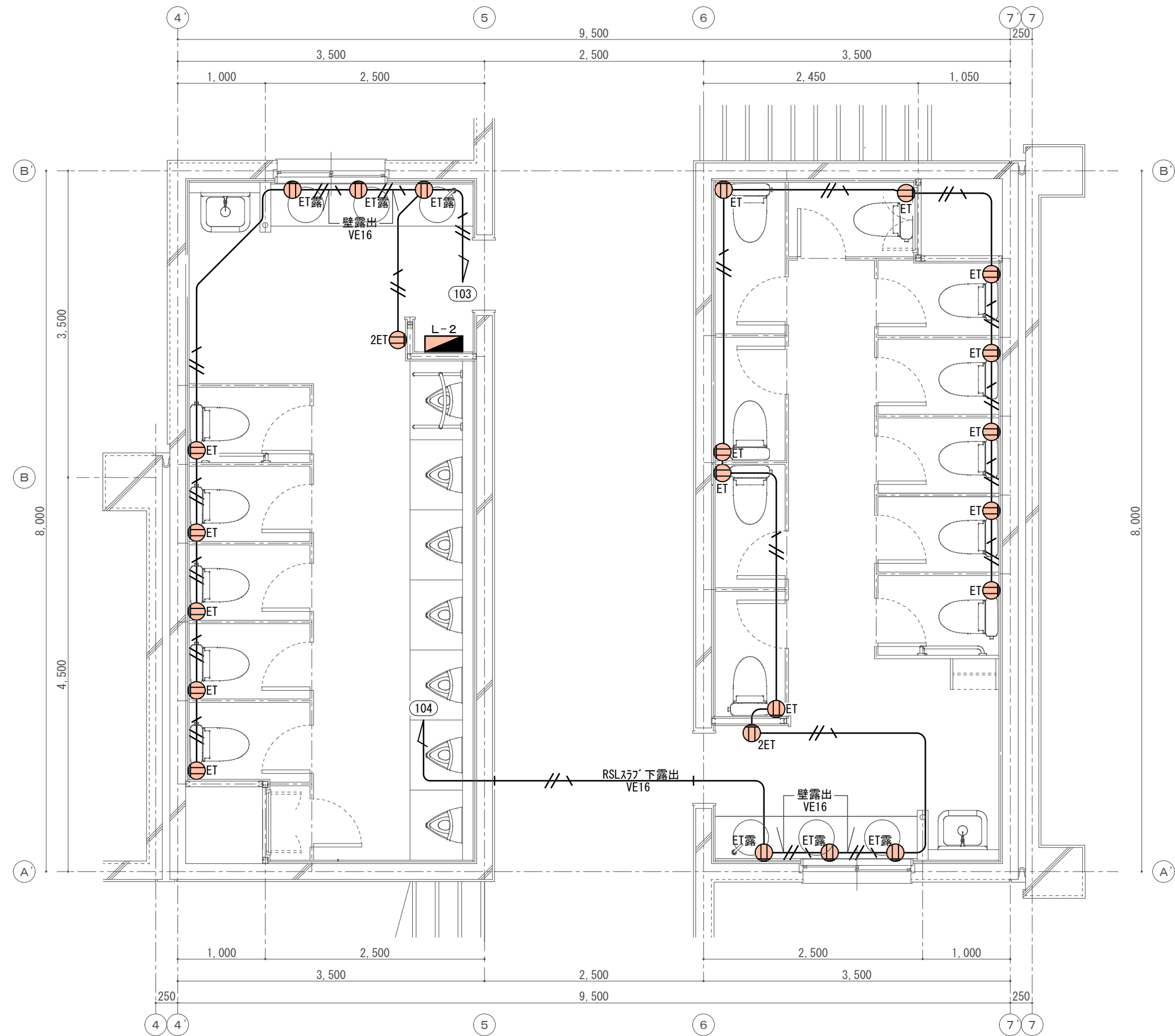
- 配電線天井スラグ 打込～存置
- II 既設照明～仮撤去
- II 埋込コンセント 2P15A 新金プレート～撤去
- SW-撤 埋込SW 新金プレート～撤去



電灯設備【改修後】平面詳細図

凡 例

- 既設天井スリッ 打込配電線
- 新設EEF1.6-2C 天井コタシ
- 新設EEF1.6-3C 天井コタシ
- 新設EEF2.0-3C 天井コタシ(管路)
- 既 SW
- 新設埋込SW(人感センサー、切・人感入・連続)
1P15A×1PL 樹脂プレート
- 新設埋込SW(換気扇、切・入)
1P15A×1PL 樹脂プレート
- 新設天井埋込 熱センサー
- 既設照明～再設置
- 新設照明 A B
- 既設照明
- 新設埋込コンセント 2P15A 樹脂プレート



コンセント設備【改修後】平面詳細図

凡 例

- 新設EEF2.0-3C 天井コタシ
- 新設EEF2.0-3C スリッ下・壁露出
VE16
- 新設埋込コンセント 2P15A×1ET 樹脂プレート
- 露出コンセント 2P15A 樹脂プレート
- 埋込コンセント 2P15A×2ET 樹脂プレート

機 械 設 備 特 記 仕 様 書

工事名称		令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	
設計年度(設計図)		2025年度	
工事期間(完成図)		年 月 日～ 年 月 日	
工事場所		吾川郡いの町 枝川小学校 (吾川郡いの町枝川2964-1)	

I 共通事項

種 目	項 目	特 記 仕 様
一 般 共 通 様	残 土 処 分 埋 設 深 さ (管 上) 埋 設 管 の 保 護 コンクリート工事／骨材 は つ り 工 事 土 間 配 管 の 支 持 ス リ ー プ 適 用 仕 様	● 構外搬出 ○ 構内敷ならし ○ 構内指示の場所にたいせき ● 一般敷地300mm以上 ○ 車両通路600mm以上 ○ 公道800mm以上 ○ 公道1,000mm以上 ○ 公道1,200mm以上。 ● 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。 ● 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。 ● 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 ● 一階土間コンクリート下部配管はステンレス吊りボルトにてスラブ筋に支持する。 ● 国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要す部分は付銅管ｽﾘｰﾌ等。地中部で水密を要しない部分はVPｽﾘｰﾌ。柱、梁以外の箇所で、開口補強が不要でｽﾘｰﾌ径200mm以下は紙ｽﾘｰﾌでもよい。) ● 特記なき事項は「高知県工事における機械設備工事施工要領」及び「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 最新版)」 (但し改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 最新版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 最新版)」による。 ● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「工事写真の撮り方(改訂第二版) 建築設備編」 ○ 国土交通省仕様 ● メーカー仕様 ● 屋外及びビッド内配管の支持金物・吊り金物はSUS製又は亜鉛ﾌﾞﾚｯﾄﾞとする。機器固定ナットはﾎｯｸﾅｯﾄ又は2重ﾅｯﾄとする。 ○ 共用区画の消防検査受検必要 ● 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成14年度版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2005年版)による。 建物の種別： ● 特定の施設 ○ 一般の施設 地域係数： ○ 1.0 ● 0.9 1)設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次のによる。
	機 器 類 そ の 他 耐 震 措 置	2)設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ○ ｱｽﾌﾙﾄ、ｱｽﾌﾙﾄ路盤は原則として再生品を使用する。 ○ 浄化槽・樹類の砂利地業は原則として再生ｸﾗｯｸﾞﾗﾝﾄﾞを使用する。(ｱｽﾌﾙﾄ再生品混じりは不可) ○ 配管施工(配管工事) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ○ 建築板金施工(ｸﾞﾚｰﾄﾞ製作及び取付) ○ 冷凍空調調和機器施工 ○ その他ー ● CADデータをCD-Rに保存して提出。 ● 画像データ(PDF形式) ○ A4版黒表紙金文字製本 2部 ○ 2ツ折りA3版製本 2部

配 管	材 料	設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	重要機器 防災機器 火を使用する機器 タンク類 消火設備機器
		上層階 屋上及び塔屋	機 器 防振機器 水 槽 類	2.0 2.0 2.0	1.5 2.0 1.5	1.5 2.0 1.5	1.0 1.5 1.0	
材	料	中層階	機 器 防振機器 水 槽 類	1.5 1.5 1.5	1.0 1.5 1.0	1.0 1.5 1.0	0.6 1.0 0.6	
			地階・1階	機 器 防振機器 水 槽 類	1.0 1.0 1.5	0.6 1.0 1.0	0.6 1.0 1.0	0.4 0.6 0.6

2)設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
○ ｱｽﾌﾙﾄ、ｱｽﾌﾙﾄ路盤は原則として再生品を使用する。 ○ 浄化槽・樹類の砂利地業は原則として再生ｸﾗｯｸﾞﾗﾝﾄﾞを使用する。(ｱｽﾌﾙﾄ再生品混じりは不可)
○ 配管施工(配管工事) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ○ 建築板金施工(ｸﾞﾚｰﾄﾞ製作及び取付) ○ 冷凍空調調和機器施工 ○ その他ー
● CADデータをCD-Rに保存して提出。 ● 画像データ(PDF形式) ○ A4版黒表紙金文字製本 2部 ○ 2ツ折りA3版製本 2部

管 種	工 種	場 所	屋 内 一 般	屋 内 露 出	屋 内 土 中	屋 外 埋 設	屋 外 架 空
使 用 区 分	給 水 (直 圧)	16	16	16		16	
	給 水 (一 般)	16	16	16		16	
	汚 水	27	27	27			
	雑 排 水	27	27	27		27	
	通 風						
	ガ ス						

○ 亜鉛ﾌﾞﾚｯﾄﾞ面の塗装下地は化学処理(ｴﾂﾁﾝｸﾞﾌﾞﾗｲﾄ)を施す。
● 鋼管・鉛管のコンクリート内配管にはﾌﾞﾗｽﾁｬﾝﾊﾟｰ1/2重ね1回巻きとする。
○ 土中埋設する鋼鉄管、鋼鉄異形管(ｶﾞﾂﾍﾞﾙ継手共)及び特殊継手類はｶﾞｽﾘｰﾌﾞ巻きとする。

工 種	場 所	屋 内 露 出	機 械 室・倉 庫	天 井・PS 内	床 下 暗 渠 内	屋 外 露 出	屋 外 埋 設	備 考
保 防 温 露	給 水	(ホ)	(ホ)	(ホ)	(ホ)	(ホ)	(ホ)	(イ)ﾛｯｸﾜｰﾙ保温材 (ヘ)簡易耐熱保温筒10mm (ロ)ｸﾞﾗｽﾜｰﾙ保温材 (ト)簡易耐熱保温筒20mm (ハ)ｶﾞｽﾌﾟﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材 (チ)冷媒用被覆鋼管 (ニ)簡易保温筒10mm (リ)簡易耐熱保温筒10mm (ホ)簡易保温筒20mm

表示

● 機械室、PSの配管には流体種別・流れ方向を明示し、弁には常時開閉を記入したﾌｳﾘｯﾌﾟﾚｰﾄﾞを取付ける。 ● 配管の埋戻し時は、6L-200mm程度に埋設表示用ﾌｳﾘｯﾌﾟを埋設する。(排水・通気管を除く)
● 排水以外の屋外埋設管には曲部・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように表示錠(柱)を取付ける。 ● ｶﾞｽﾞﾋﾞｯｸﾞBOX内部に系統名・管ｻｲｽﾞ・設置年を書いたﾌｳﾘｯﾌﾟﾚｰﾄﾞを入れる。(制水弁はﾊﾝﾄﾞﾙを納入)

別 工 途 事

● スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ｸﾞﾗﾗﾘ ○ 点検口 ○
● 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ ｸﾞﾛﾊﾞﾝﾎﾞﾝﾍﾞﾙ ○

発 生 処 理

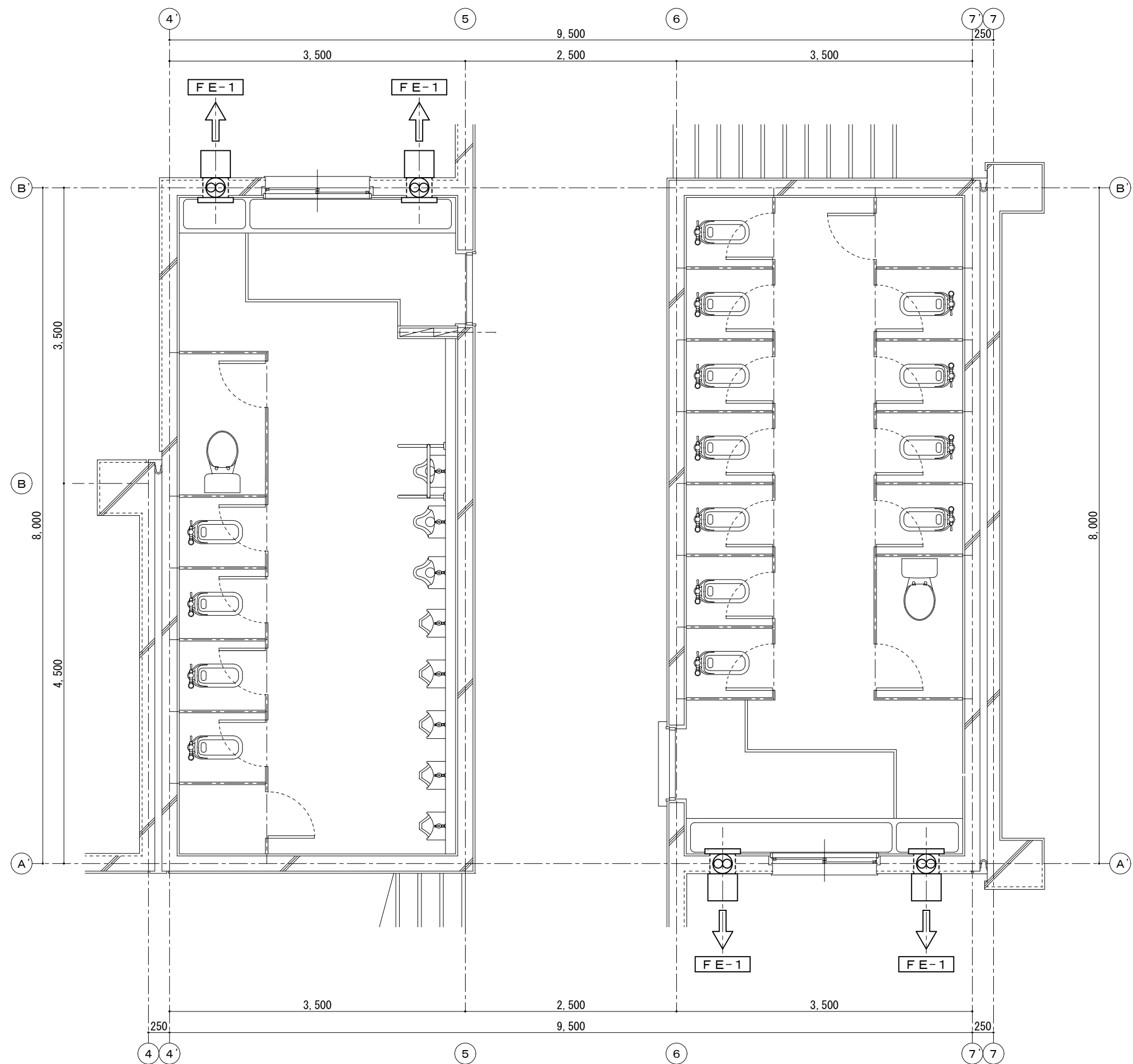
公共建築工事標準仕様書1.3.6による。) ○ 特別管理産業廃棄物 (処理方法)
○ 引渡しを要するもの ()
○ 現場において再利用を図るもの () ● 再生資源化を図るもの ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ｱｽﾌﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊 建設発生木材 ※炭石膏ｶﾞｰﾄﾞ等は原則分別再利用処理とする。

● 対象建築材料等

使 用 制 限

①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パ ティクルボード、ユリア樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上り塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
③ 木材保存剤(防虫処理、防蟻処理等)	クホルピリホルス、ダイアジノン、フェノﾌﾞｶﾙﾌﾞを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防虫・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。 2)ﾌﾀﾙ酸ｼｰｰﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼｰ-2-へエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。 室内に関わる材料(上記①～⑤及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、 ﾌﾀﾙ酸ｼｰｰﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼｰ-2-へエチルヘキシル、クホルピリホルス、ダイアジノン、フェノﾌﾞｶﾙﾌﾞの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

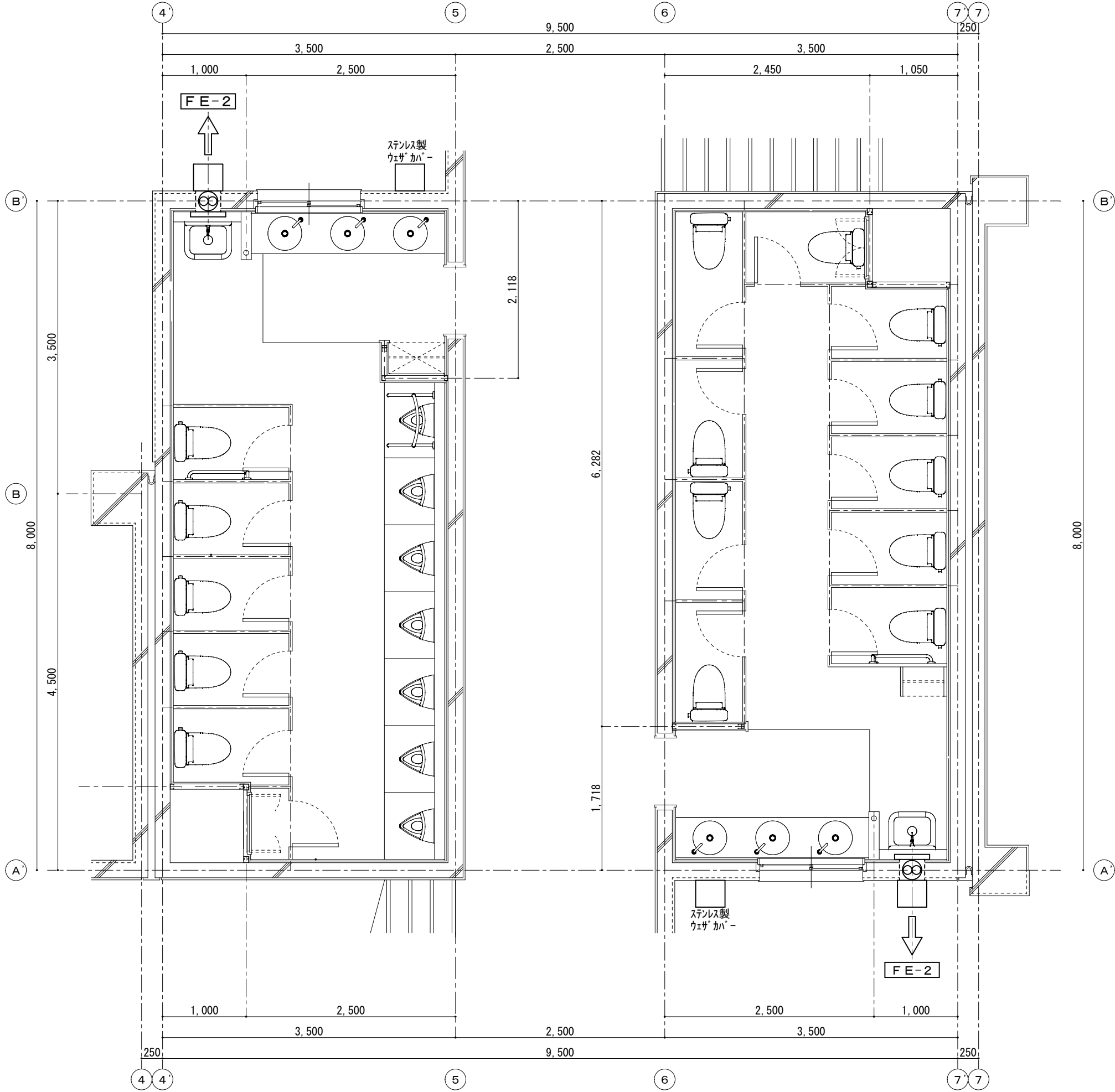
II 工事種目		負 担 金 額	給 水 設 備	継 ぎ 手 類	● 不要 ○ 要 () ● 直圧給水弁は水道事業者の指定品 (指定のない場合は、二次側給水に準じた弁) ● 二次側給水弁(土中)：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング) ● 二次側給水弁(一般)：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鋼鉄製F付き内面ライニング弁5K ● 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。 ● ユニッドバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をすること。 ● ビニル管とライニング鋼管の接続には[T Sバルブソケット]+[防食ネジ異種金属接続用めすアダプタソケット付き継手]を使用する。 (水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。) ● T Sバルブソケットは金属製(砲金)おすネジを打込しているものを使用すること。																															
● 設備	排水	保護砂	砂利	○ 設備	消 火 栓 箱	○ 設備	給湯	弁 類	大 気 汚 染 対 策	○ 設備	給湯器	止 水 弁	そ の 他	○ 設備	ガス	計 測 機 器 等	自動空気抜き弁装置	吹 出 口	チャンバ	消 音 内 貼 り	○ 設備	空気調和・換気設備	ダ ク ト	機 器 付 属 の 制 御 盤	大 気 汚 染 対 策											
○ 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂(180度台)を要す。 ○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。(但し平屋建は不要とする。) ○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。	○ 消火栓箱は(○ 県の標準図 ○ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様) 消火器(粉末A B C 10型)	○ 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。 ／15kg以上の給湯器を設置する場合は、「構造設置基準」告示1447号の基準に適合させる。」	○ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用すること。 ○ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ○ ガス事業法に準拠 ● 「1.高圧ガス保安法、2.液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に準拠	計 測 機 器 等 自動空気抜き弁装置 吹 出 口 チャンバ 消 音 内 貼 り	温度計()圧力計()所 風量測定口()所 瞬間流量計()所 自動空気抜き装置()所 ● 不要 ○ 要() 所 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。 アネモ形吹出口には、チャンバ(ネック径200φ以下は400×250H 200φをこえるものは500×300H)を設ける。 内貼りチャンバの寸法表示は、外法寸法とする。サブライチャンバにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。 消音材はｸﾞﾗｽﾜｰﾙ(吹出口ﾁｬﾝﾊﾞー吸込口ﾁｬﾝﾊﾞｰﾚｰﾝﾁｬﾝﾊﾞｰは25mm厚、ｻﾞﾞﾗｲﾁｬﾝﾊﾞｰは50mm厚)とし、ｸﾞﾗｽﾜｰﾙ押えとする。 ○ アルミフレキ(不燃材料認定品) ○ ステンレスフレキ(不燃材料認定品) ○ 塩ビ製ダクト ○ スパイラルダクト ○ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の壁の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P ﾍｰﾙ管(JIS A 5372) 冷媒用被覆鋼管 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾞﾙﾌﾞﾘｰｰ内管JIS G 3452】 ｶﾞｽ用ｽﾀｲﾚﾝ管(JIS K 6774) 架橋ｽﾀｲﾚﾝ管(サヤ管工法)(JIS K 6787) 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)	排水用鋼鉄管【ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ2種管】(JIS G 5525) 鉛管(HASS 203) 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) 耐火性塩化ビニル管【FS-VP】 カラーV P



【既設・撤去】換気設備平面図

特記、凡例

FE-1 壁付換気扇φ300～撤去
樹脂製カバー共

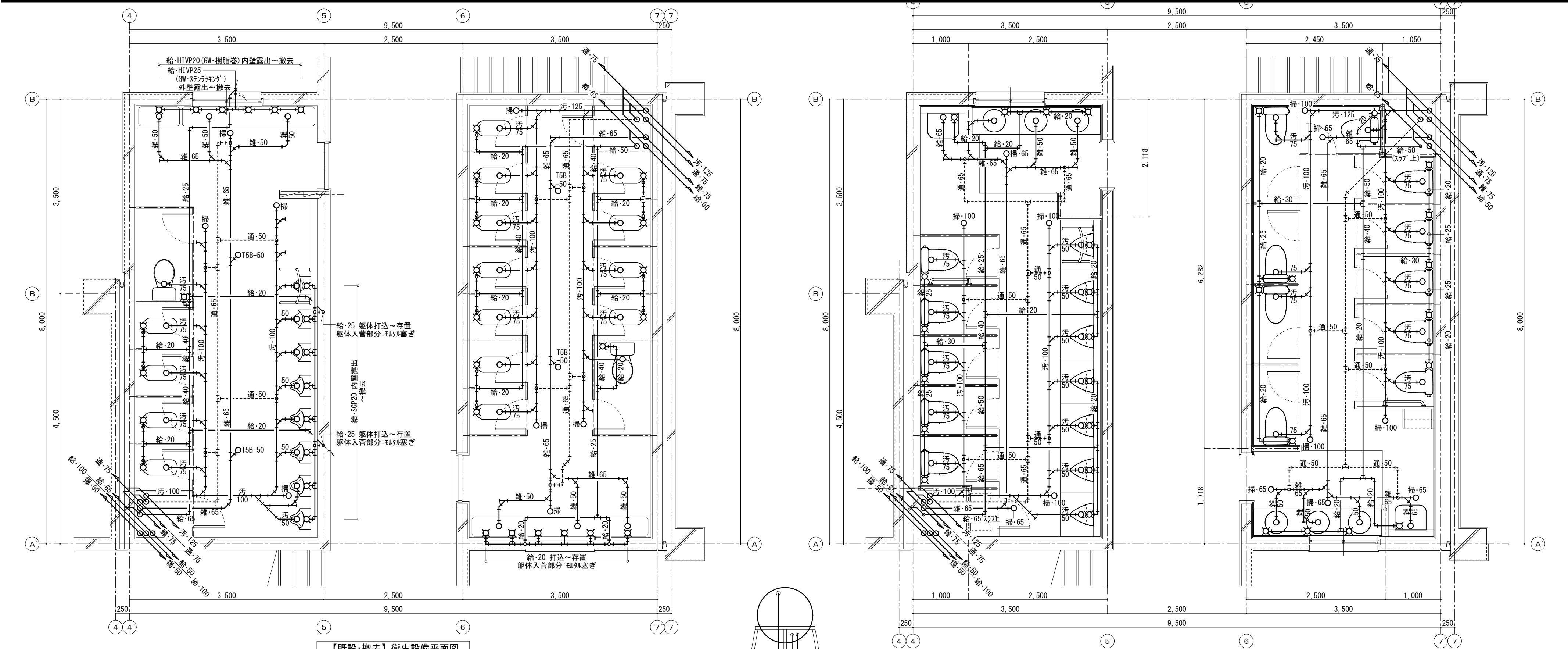


【改修後】換気設備平面図

特記、凡例

FE-2 新設壁付換気扇φ300
ステンレス製カバー共

図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
M-02	令和8年度 枝川小学校トイレ改修工事	換気設備【既設・撤去、改修後】平面図	1/50 (A3版:71%)	R 07.12			



【既設・撤去】衛生設備平面図

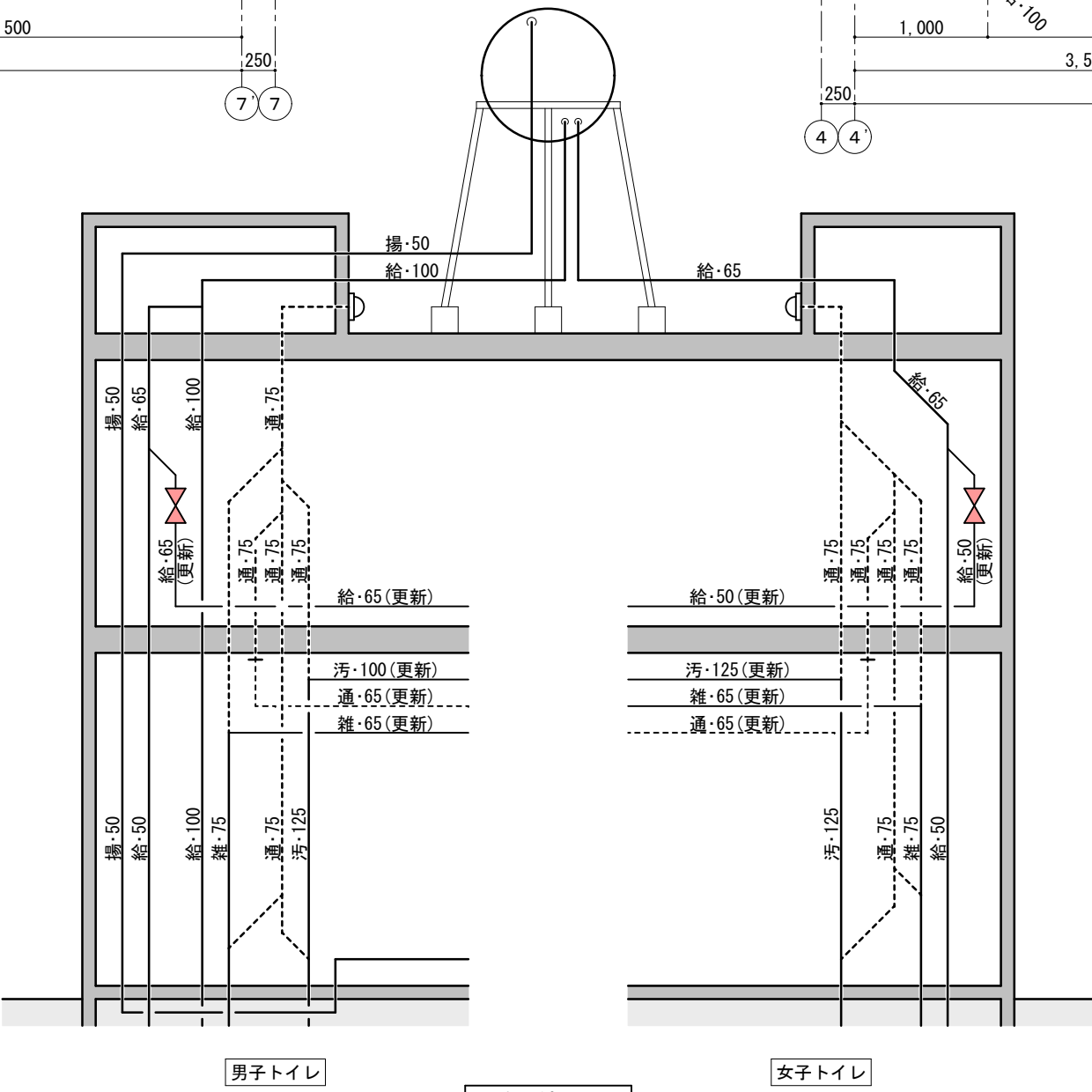
【改修後】衛生設備平面図

特記、凡例

- 給水管、排水管、通気管～存置(主に縦管)
- 給水管、排水管～撤去
- 特記なき機限りｽｽﾞ下配管
- 給水管:特記なき限り水道用ﾏｲﾅｸﾞ鋼管(PVS)(GW・樹脂巻)
- 汚水管:VP(GW・樹脂巻)
- 雑排水管:VP(GW・樹脂巻)
- 通気管:VP(GW・樹脂巻)～撤去ｽｽﾞ下配管

特記、凡例

- 既設給水管、排水管、通気管(主に縦管)
- 新設給水管、排水管
- 給水管はｽｽﾞ上、その他の管はｽｽﾞ下配管
- 給水管:HIP(簡易保温筒20mm)
- 汚水管:VP
- 雑排水管:VP
- 新設通気管:VPｽｽﾞ下配管



系 統 図

撤去衛生機器リスト				
室 名	機 器 名 称	品 番	数 量	備 考
男子トイレ	洋風大便器	CS430	1	ロータンク
	紙巻器	TS116R	2	
	和風大便器	C375VF	4	フラッシュバルブ
	紙巻器	TS116R	8	
	壁掛小便器	U57	5	
	手摺	T112CL9	1	
	床置小便器	U53	3	
	手洗い単水栓	T200-13	6	
	排水トラップ	BLM-B50	3	
	床排水トラップ	T5B-50	2	
	床上掃除口	CKB-S65	1	
		CKB-S100	3	
	化粧鏡	TS119AEAY5	2	
女子トイレ	洋風大便器	CS430	1	ロータンク
	紙巻器	TS116R	2	
	和風大便器	C375VF	11	フラッシュバルブ
	紙巻器	TS116R	22	
	汚物入		11	スチール製
	手洗い単水栓	T200-13	6	
	排水トラップ	BLM-B50	3	
	床排水トラップ	T5B-50	2	
	床上掃除口	CKB-S65	1	
		CKB-S100	2	
		CKB-S125	1	
	化粧鏡	TS119AEAY5	1	

撤去換気設備リスト				
室名	記号	機器名称	数量	備考
男女 各トイレ	FE-1	換気扇φ300	4	
		樹脂製ウェザカバー	4	

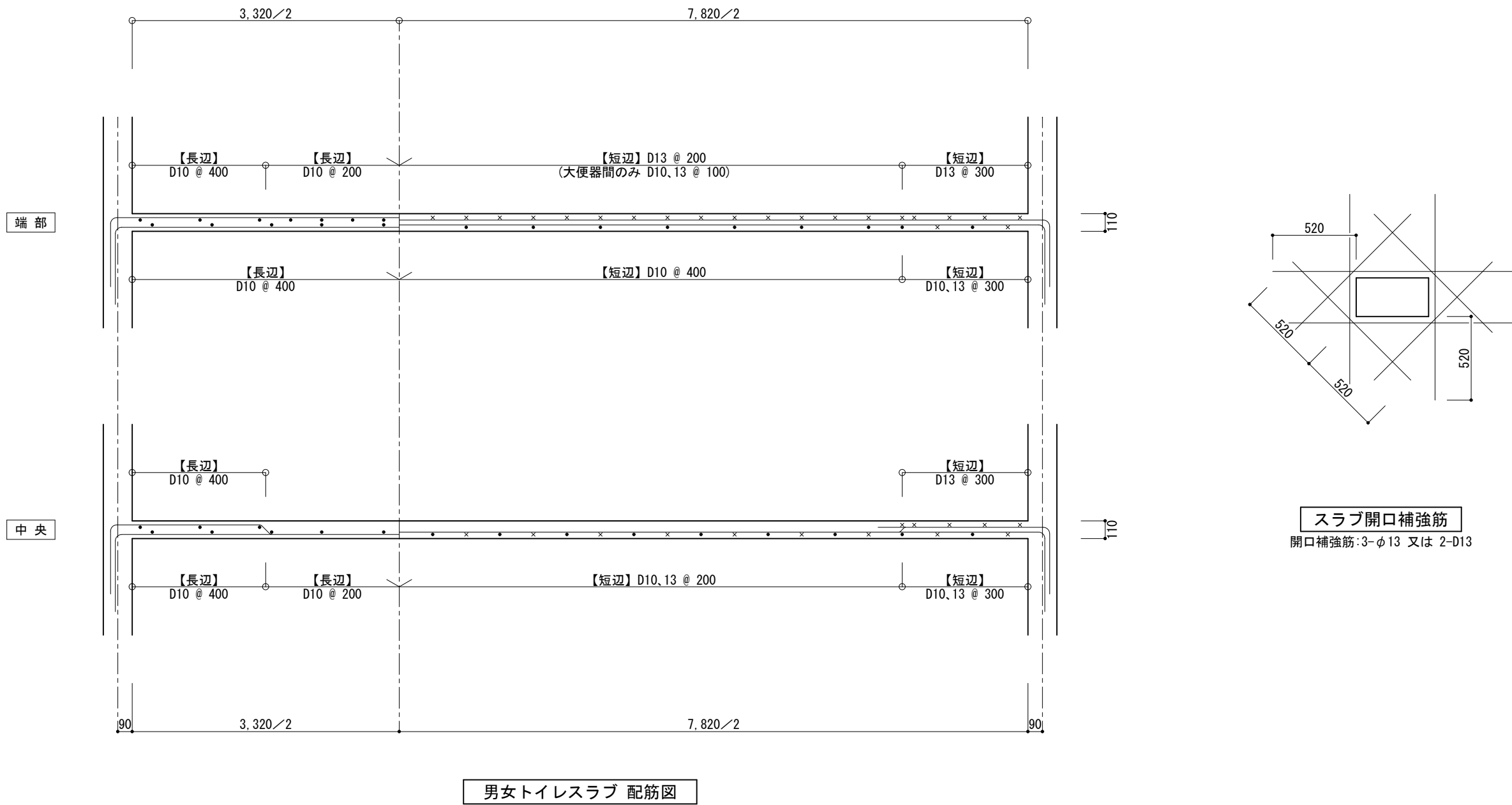
改修衛生機器リスト				
室 名	機 器 名 称	品 番	数 量	備 考
男子トイレ	洋風大便器	CFS498BK	5	フラッシュタンク式
	暖房便座	TCF226	5	
	紙巻器	YH181	5	取付下地
	手摺	T112CL9	1	固定金具、取付下地
	床置自動洗浄小便器	UFS910W	7	取付下地
	手摺	T112CU22	1	固定金具、取付下地
	ポータル一体型カウンター洗面器	MC50・L:2, 303・グリーン・洗面3基	1	
		排水金具:M357W	3	
		ブラケット:M9P40A	4	取付下地
		台付自動水栓:TLE26SS1A	3	
		止水栓:T6BR	3	
	化粧鏡	YMK11K3	1	
	床上掃除口	CKH65	2	
		CKH100	3	
	掃除具流し	SK22A(セット)	1	取付下地
女子トイレ	洋風大便器	CFS498BK	10	
	暖房便座	TCF226	10	
	紙巻器	YH181	10	
	手摺	T112CL9	1	
	ポータル一体型カウンター洗面器	MC50・L:2, 303・グリーン・洗面3基	1	
		排水金具:M357W	3	
		ブラケット:M9P40A	4	取付下地
		台付自動水栓:TLE26SS1A	3	
		止水栓:T6BR	3	
	化粧鏡	YMK11K3	1	
	床上掃除口	CKH65	4	
		CKH100	3	
	掃除具流し	SK22A(セット)	1	取付下地

改修換気機器リスト					
室名	記号	機器名称	品番	数量	備考
男女トイレ	FE-2	換気扇φ300	参考:EX-30EK9-C	2	消費電力:30.5W、風量:1,002m3/h
		ステンレス製ウェザカバー		4	木枠、ステンレス製防虫網



新設配管コア抜き	男子	女子	合計
100φ	13	8	21
125φ	5	10	15
150φ	3	3	6
既設配管孔モルタル詰			
50φ	7	14	21
100φ	17	7	24
125φ	1	1	2
150φ	3	3	6
打込み給水管キャップ 塞ぎ			
20φ	0	6	6
25φ	3	0	3

- 既設スラブ孔凡例
- 既設和便器開口塞ぎ (配筋については別図参照)
 - 既設配管孔、周囲目荒らしの上 モルタル詰め
給:給水管、汚:汚水管、雑:雑排水管、掃:掃除口
数字は孔径を示す
 - 既設和便器開口塞ぎ隣済 (過去の和便→洋便化工事による)
 - 既設配管孔 塞ぎ済 (過去の和便→洋便化工事による)
 - 新設配管孔 コア抜き
給:給水管、汚:汚水管、雑:雑排水管、掃:掃除口
数字は孔径を示す
・コア抜きについては鉄筋探索を行い切断しないようにする
干渉すると思われる箇所については監理者と協議する
 - PS縦管スラブ貫通
縦管(スラブ孔)～存置



壁配筋リスト				
施工箇所	壁厚	配筋	開口補強筋	備考
電気設備 配電線貫通 ①	120 + 増打:30	D10 @ 200 シングル 縦横共	1-D13	ドリル穴開け
配電線貫通 ②	180 + 増打:30	D10 @ 250 ダブル 縦横共	2-D16, 13	ドリル穴開け

